平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 1 日

要請番号（ SL 642 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
セネガル	（コード G239 ） 服飾	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	○2年 ◉1年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　職業訓練・研修・手工業省

2)配属先名（日本語）　国立家族経済・社会教育学校　○NGO

3)任地 ダカール州ダカール県ダカール市

JICA事務所の所在地（ ダカール ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ ダカール ）までの交通手段及び所要時間（ 車 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

国立の学校で、コースは生徒の学歴により3つの種類に分けられており、2～4年課程である。各コースの中で服飾、ホテル・飲食・サービス、地域開発、家族経済の専門クラスに分かれている。また当校は栄養士の資格が取れる唯一の公的施設であり、栄養科2年課程がある。会議場、レストラン、宿泊施設が併設されており、ホテル・飲食・サービス科の学生が実習を兼ねて働けるようになっている。地方の公的職業訓練校の関連課程の教師はほとんどがこの学校出身であり、教える教官の技術のレベルは高い。現職教員の研修も担っている。年間予算は約360万円。これまで4名のJVが派遣された。ベルギーなどからPC設置などの援助がある。

要請概要

1)要請理由・背景

1998～2006年頃まで4名のJV(家政)が派遣され、マクラメ、刺繍、アートフラワーなどの新しいアイディアを提案してきた。JVらのレポートによると、少々の改善すべき点はみられるものの授業の質は高いとのこと。

以前とは校長が変わり、新たに隊員の要請があった。ニーズを話し合った結果、服飾の講師らはパターンメーキングを苦手としており、専門的な知識や経験を持つSVの要請に至った。服飾担当講師は12名おり、理論は理解しているが実践、生徒への指導に自信がないため指導を受けたいと望んでいる。

また、講師らの多くはアパレル業で働いた経験はないため、生徒のためになる産業の知識を提示することも期待されている。一方、学校長は更なる授業の質、学校運営の質の向上を目指しているため、総合的な観点からの改善の提言ができるとなおよい。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

技能、知識に応じて以下のような活動が期待される。
①同僚教師にパターンメーキングの解説及び実技指導を行う。
②同僚教師とともに生徒にパターンメーキングの授業を行う。
③セネガルにはない技術や新しいアイディアがあれば提供する。
④日本の衣料製造業(工程、マーケティング、品質管理、生産管理等)についての情報を提供する。
その他授業計画、教材作りなど、授業の質、学校運営の質の向上に対するアイディアを出すことも期待されている。
なお、パターンメーキングの作業はすべて手作業で行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、ミシン約20台、パソコンはあるがアパレルCADなどのソフトはない。

4)配属先同僚及び活動対象者

全校生徒約230名(男子65名、女子165名)。
服飾の専門クラスは7クラス。1クラスの生徒は5～10人前後。
職員約100名(総務30名、講師70名(常駐ではない))
服飾専門の12名の講師がいる(中学卒業後専門課程4年を経て講師経験数年)。

5)活動使用言語
（ フランス語 ）

6)生活使用言語
（ その他 ）

7)選考指定言語
英語 (レベル: D)
又は
フランス語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許（ ）
　又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：教師らへの実演指導を行うため
・ 理由：

活動上の単車／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可　春募集時のみ適用
◉否　SVは通年対象外

地域概況

気候(ステップ気候) 気温(15～45 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☑インターネット可 ☑電話可 □無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

服飾系の学校、学部を卒業していることが望ましい

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 30 日

要請番号（ SL 024 - 14 - C - 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ラオス	（コード H105 ） 看護師	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健省

2）配属先名（日本語）　国立マホソット病院　　○ NGO

3）任地 ビエンチャン市

JICA事務所の所在地（ ビエンチャン ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ ビエンチャン ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

同病院は1910年にフランスの援助により設立。診療部門30科、管理部門7科、ベッド数450床、27病棟からなるラオス最大の国立総合病院であり、救急医療やインターナショナルクリニックの機能も併設している。平均外来患者数1日1000名、スタッフは医師201名、看護師420名を含む計937名が在籍する。年間予算約130万円。これまで12名のJV(看護師・臨床検査技師・放射線技師)、2名のSV(院内教育)が派遣されている。JICAの「母子保健人材開発プロジェクト」(2012-2016)も同病院外科病棟をモデル病棟として現在進行中。

要請概要

1）要請理由・背景

配属先はラオス最大の国立総合病院として機能するとともに、地方病院への情報発信や医療スタッフ研修、医学生・看護学生の実習病院としても重要な役割を担っている。2011年から2代目SVが、①看護管理、②人材育成、③看護サービスの3つの分野で支援を行い、看護管理手法の定着と改善、看護サービスの評価、指導体制の確立などに取り組んできた。しかし看護師420名を擁するラオス最大の病院において、現SV1代限りの活動でこれらを十分なレベルに引き上げ、定着させることは困難であり、また臨床実習を指導する人材の不足も課題となっている。引き続き、院内教育の人材育成とシステム構築、看護管理の改善、看護実践能力の向上に向け取り組んでいきたいとの配属先意向により、本要請に至った。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1. 看護部、病棟における年間看護管理計画の立案・実践・評価の支援
2. 院内教育活動への支援
3. 看護実習指導方法の確立と指導者の人材育成
4. 看護実践能力の評価と看護過程を含めた実践方法改善の取組み
5. JICA「母子保健人材開発プロジェクト」のモデル病院である配属先において、病院とプロジェクトとの円滑な連携に向け必要に応じ支援

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

コンピューター4台、プロジェクター1台、コピー機1台、

4）配属先同僚及び活動対象者

副病院長（医療サービス担当 女性 40代 看護学修士）
看護部長（女性40代 看護学修士）
副看護部長2人（女性50代）
スーパーバイザー(女性40代、看護学修士)
看護職員数420名(看護学士21名)

5）活動使用言語（ 英語 ）

6）生活使用言語（ ラオス語 ）

7）選考指定言語　英語（レベル: B ）又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 看護師 ）又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚看護師も学士以上のため
- 経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：院内教育で指導するため
- 理由：

活動上の車両／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 15～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（ [ ] インターネット可　[ ] 電話可　[ ] 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号(SL 112 - 14 - C - 01)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 7 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から
マーシャル	(コード H105) 看護師					

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健省

2)配属先名 (日本語) マジュロ病院 ○NGO

3)任地 マジュロ環礁デラップ地区

JICA事務所の所在地(マジュロ)から 北 方向 0 Km

主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

同病院は同国に2つある国立病院の1つで、内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科等から成り、病棟は産科・小児科・外科・内科・外来の5棟がある(ベッド数は110床)。医師13名と看護師77名、准看護師13名、看護助手22名が勤務しており、このほか、公衆衛生部門で看護師44名、准看護師13名、看護助手3名が勤務している。日本政府の無償資金協力により建物や医療機材が供与されている。

要請概要

1)要請理由・背景

同病院は首都にある同国最大の国立病院として、首都の住民はもちろん離島から緊急移送される患者にも対応する重要な医療機関である。現在、同国の糖尿病有病率は世界第3位であり、糖尿病合併症の増加また糖尿病に起因した死亡者数も増加傾向にある。しかし、看護師による患者への教育システムの構築がなされておらず、患者の糖尿病に対する認識、知識不足の感は否めない。院内における看護師の看護・教育レベルアップを図るとともに、患者教育のシステムを充実させ、糖尿病患者減少の一助となることを目的として、ボランティアの継続要請がなされた。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

看護師として以下の活動が期待されている。
1. 患者を対象とした糖尿病予防等のセミナーを定期的に開催する。
2. 病棟巡回等を通して、研修内容に反映させるための看護現場の現状調査および問題点の抽出を行い、看護師を対象としたセミナーを開催する。
3. 公衆衛生部との連携、コミュニティーでの糖尿病教育の推進を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ノートPC(英語版)、プロジェクター、TV、ビデオデッキ、蘇生人形、AED

4)配属先同僚及び活動対象者

看護部長 女性 68歳
副看護部長(継続教育担当) 女性 67歳
副看護部長(患者サービス担当) 女性 56歳
感染コントロール担当看護師 41歳

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (その他)
7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (看護師) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (指導経験) (5年以上) 理由:教育に関連した活動が主となるため
- 糖尿病患者教育に関する経験 理由:活動内容に含まれているため

活動上の車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(海洋性熱帯気候) 気温(28 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号（ SL 112 - 14 - C - 03 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
マーシャル	（コード H105 ） 看護師	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） イバイ病院　○ NGO

3)任地 クワジェリン環礁イバイ地区

JICA事務所の所在地（ マジュロ ）から 北西 方向 440 Km

主要都市（ イバイ ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同病院は同国に2つある国立病院の1つでクワジェリン環礁イバイ地区に位置する。治療部門は、看護・医療、医療補助、医療照会の部門に分かれ、内科・外科・小児科・産婦人科、救急等、7つの病棟から成る。ベッド数は48床。医師9名と看護師24名、准看護師5名、他にプライマリーヘルス部門にて看護師、准看護師が勤務している。

要請概要

1)要請理由・背景

同病院は首都にある同国最大のマジュロ病院に次ぐ第2の病院として、クワジェリン環礁の住民はもちろん離島から緊急移送される患者にも対応する重要な医療機関である。しかし病院の人材不足は深刻で、外国人の医師や看護師を雇用することで不足を補っている。また人材不足を解消するために院内における継続教育により現地看護師の養成に取り組んでおり、看護師、准看護師に対して現場の医療事情に適した研修を実施している。これらの院内看護教育の継続・発展、研修の向上、看護技術へのアドバイスを図るべくボランティアの継続要請がなされた。現在初代として、短期シニアボランティアが同配属先にて活動中である。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

看護師と所定の部署に属しつつ以下の活動が期待されている。

1. 院内看護教育の看護トレーナーとして、看護師、准看護師に対し、看護の質の向上を図るための病院の現状に合った研修を企画し、実施する。
2. 病棟巡回等を通して、研修内容に反映させるための看護現場の現状調査及び問題点の抽出を行う。
3. プライマリーヘルス部門において、健康教育の質の向上を図るためにアドバイスを行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ノートPC(英語版)購入予定、プロジェクター、プリンター等、

4)配属先同僚及び活動対象者

看護部長 女性 50代
同僚看護師(3-4名:30-50代)
同病院はチームとして部署横断的な体制であるため、
同僚数等は場合に応じ変わることがある。

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ その他 ）

7)選考指定言語 英語（レベル: C ）又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 看護師 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 指導経験 ）（ 5年以上 ）理由：高い立場での指導を求められるため
- 理由：

活動上の車車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SV は通年対象外）

地域概況

気候（海洋性熱帯気候 ）気温（ 28 ℃位）　電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

通信（ [ ] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線 ）　水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 25 年 12 月 5 日

要請番号（ SL 333 - 14 - C - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ウルグアイ	（コード H105 ） 看護師	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健省

2)配属先名（日本語）　国立外傷・整形外科病院　○NGO

3)任地 モンテビデオ市

JICA事務所の所在地（ モンテビデオ市 ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ モンテビデオ市 ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同病院は外傷、整形外科専門の国立病院(87床)。医療費は無料で、貧困層の患者が多くを占めている。患者の約半数が地方の病院から転院してくるほか、大学医学部の実習先となっているなど、同分野の中核病院として国内で重要な役割を担っている。大卒看護師30名、准看護師130名、医師100名のほか、理学療法士、臨床心理士等、医療スタッフは約460名。一般外来患者数(2600人/月)、救急外来患者数(2200人/月)、手術件数(200件/月)。病院建屋の老朽化のため、2014年前半に市内の別の場所に移転予定である。看護部長はJICAの課題別研修を受けた元研修員である。過去に看護師のSVが1名派遣されている。

要請概要

1)要請理由・背景

同病院は外傷、整形外科専門病院として同国内で中核的な役割を担っているが、看護の現場では感染予防や看護記録の整備、指示出し・指示受け、誤薬の防止、患者誤認防止、転倒・転落の防止、物品管理、接遇、医薬品・医療機器の安全使用等、看護実践における様々な場面で安全確保の取組みに未だ不十分な点が見られるため、これらの問題点を改善し、医療安全に基づいた質の高い看護サービスを提供することが重要な課題となっている。ボランティアには、所属先となる看護部だけでなく、こうした状況を受けて医療安全を推進するため同病院内に設立された医療安全委員会とも連携し、関係者と意見交換をしながら、看護部関係者の医療安全に関する知見を深め、看護実践の安全性向上に寄与することが期待されている。その過程で日本における経験から効果的と考えられるアプローチやアイデア、有用な教材などの紹介も期待されている。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

同病院の看護部で以下の活動を行う。
1.看護実践における安全確保の取組みに関して、現状と課題を分析・整理する。
2.上記課題解決に協力し、関係者への技術的アドバイスを通じて、医療安全に基づいた質の高い看護サービスの提供を支援する。
3.啓発活動を通じ、継続的に安全文化の醸成と定着に協力する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター、コピー機等一般事務機器

4)配属先同僚及び活動対象者

看護師長:50歳代(女性)、JICAの課題別研修参加経験有り

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ スペイン語 ）

7)選考指定言語
英語 （レベル: C ）
又は （レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 看護師 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：業務実施上必要
- そのうち外科における実務経験3年以上　理由：業務実施上必要

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可（春募集時のみ適用）　◉否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（温暖気候 ）気温（ 3～34 ℃位）　電気（◉安定 ○不安定 ○なし）

通信（☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線 ）　水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

スペイン語で活動ができる場合、その点を語学力申告台紙に記載して下さい。

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 4 日

要請番号（ SL 469 - 14 - C - 09 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
モロッコ	（コード H105 ） 看護師	◉ グループ型 ○ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 4 / /	年 月 から

配属先概要

1) 受入省庁名（日本語）　保健省

2) 配属先名（日本語）　ラバト大学小児病院新生児科　　○ NGO

3) 任地 ラバト県ラバト市

JICA事務所の所在地（ ラバト ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ フェズ ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4) 配属先の規模・事業内容

配属先は、国内唯一の小児専門病院である。そのため、近隣県から移送されてくる患者の最終受け入れ先としての役割を担っている。また、隣接するラバト大学産科病院で出産される新生児(2012年分娩実績 16,395件)へのケアも行っている。大学病院として、専門医の養成及び看護師養成課程の学生への教育的な役割も担っている。しかし、モロッコでは看護師養成課程で小児看護に関する指導が十分とは言えず、看護師の質の改善と向上が求められる状況が続いている。
2012年の年間の入院患者 新生児科 2,113名、NICU 1,026名、新外来患者 5,246名、再診患者 5,090名

要請概要

1) 要請理由・背景

モロッコでは、看護師養成課程で小児科に関する指導が十分に行われておらず、小児病院新生児科に配属される看護職は、小児看護に関する十分な知識を持っていない。従って、患者へのケアにかかる基本的な事項は、配属後に同僚に習うのが普通である。その為、院内感染の頻度が高いことなど患者ケアの質に課題がある状況が続いている。
2012年に死亡した入院患者の主たる原因は、感染が原因と分析されている等、看護管理の必要性から本要望が提出された。

2) 予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

新生児科において、看護師管理職と連携し看護職の基本的なレベルの向上への寄与が期待されている。
1.看護職として小児科看護に関する基本的な知識を共有する。
2.患者・物品管理方法などの知識の共有・指導を行う。

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

新生児科には保育器・インファントウォマー・呼吸器・光線療法器・自動輸液ポンプ等の基本的な機材が揃っている。機材の管理は、医療機材専門の職員が行っている。

4) 配属先同僚及び活動対象者

新生児専門医 教授クラス 6名、専門医2名、専門医を目指す医師 24名
看護師35名(管理職 新生児科担当1名、UICU担当1名)
新生児科 入院患者 、外来患者

5) 活動使用言語
（ フランス語 ）

6) 生活使用言語
（ アラビア語 ）

7) 選考指定言語
英語 （レベル: D ）
又は
フランス語 （レベル: D ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 看護師 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 新生児小児科実務経験 5年以上　理由：専門分野の指導を行うため

活動上の車車／自転車の必要性
○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度
○ 可　春募集時のみ適用
◉ 否　SV は通年対象外

地域概況

気候（地中海性気候 ）気温（ 5～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ [ ] インターネット可　[ ] 電話可　[ ] 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 31 日

要請番号(SL 642 - 14- C - 02)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	○2年 ◉1年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から
セネガル	(コード H105) 看護師					

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健・社会活動省

2)配属先名 (日本語) グランヨフ病院 ○NGO

3)任地 ダカール州ダカール県ダカール市

JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km

主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

首都にある3次レベル国立総合病院のひとつで、小児科、心臓科、外科、泌尿器科、産科、婦人科、麻酔科、耳鼻科、整形外科、救急医療、検査室、を備える。医師約60名、看護師約400名、その他総務課、メンテナンス課など合わせて約700人のスタッフが勤務している。入院ベット数230床、手術室9室、レントゲン、CT、救急車2台を備えている。2013年の年間総予算約10億円。

要請概要

1)要請理由・背景

保健・社会活動省は多額の経費をかけずに病院の質を改善する方法として、5S-KAIZEN-TQMを取り入れることとしている。JICAは2011年に25病院に対して5S-KAIZEN-TQMの研修を実施した。当病院の院長は保健・社会活動省5S委員会のメンバーでもあり、この病院を3次レベル病院の5Sモデル病院とすべく活動を積極的に進めている。当病院では5Sの意識が浸透しはじめ、質を高めるためのKAIZEN活動につなげていく次の段階に来ている。院長およびスタッフの意識が高いものの、具体的にどのように改善していくかのアイディアに乏しいため、ボランティアの要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

医療およびサービスの質の改善につながる以下の活動を行う。
①看護師の組織、配置体制改善など人材マネージメントに対する提案・アドバイス
②人材評価、研修の方法に対する提案・アドバイス
③各診療科および、各診療科の5S担当の活動に関するアドバイス
④改善案を作成し、配属先と協議のうえ実施

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ノート型パソコン(HP社製)、プロジェクター(InFocus社製)

4)配属先同僚及び活動対象者

院長(男性、40代)、看護科科長(男性、40代)、看護師約400名(男性、女性、20代～50代)

5)活動使用言語 (フランス語)

6)生活使用言語 (フランス語)

7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (看護師) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (実務経験) (10年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要
- 理由:

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(ステップ気候) 気温(15～45 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)

通信(☐インターネット可 ☐電話可 ☐無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号（ SL 333 - 14 - C - 09 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ウルグアイ	（コード H106 ） 保健師	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） リベラ県庁

2)配属先名（日本語） リベラ県庁 保健・衛生・環境局保健課 ○ NGO

3)任地 リベラ県リベラ市

JICA事務所の所在地（ モンテビデオ市 ）から 北東 方向 500 Km

主要都市（ モンテビデオ市 ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 7 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同県はブラジルと国境を接する同国北部に位置し、人口約10万人。社会開発が最も遅れている県の一つで、貧困問題を始めとして様々な社会問題を抱えている。県庁は公共事業、財務、保健・衛生・環境、振興・開発、運輸交通の5局からなり、社会問題の改善に総合的に取り組んでいる。年間予算約3700万米ドル、県職員約1,000人。県知事、保健・衛生・環境局長は、JICAの元研修員である。これまでSV4名が同県庁に派遣され、前任となる保健師SV(2013.10～2014.9)は、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力で同県庁に供与された地域巡回用診療バスで域内を巡回、地域医療の向上に協力している。

要請概要

1)要請理由・背景

同県では人口の約9割が都市部に集中し、農村地域の社会開発が遅れている。そのため、農村地域の住民は基礎医療や行政手続等の基本的な公共サービスを受ける機会が非常に限定的となっており、地域間格差が大きな問題となっている。こうした状況を改善するため、同県庁は日本政府から簡易な医療設備を備えた農村地域巡回用バスの供与を受け、医者や専門の県庁職員らが定期的に農村を巡回しながら、診療活動、保健衛生に係る啓発活動(健康管理、疾病予防、栄養改善、家族計画等)、暴力や虐待等の社会相談、出生届や社会保障等の行政手続き等の支援を行っている。前任者は同バスで医師、歯科医師、看護師などとともに農村地域を巡回し、特に予防医療に関する活動に力点を置きながら地域医療改善に協力している。現場の医師や同僚の診療技術・知識は一定水準のものはあるが、予防医療に関する経験・知識がまだ十分とは言えないため、さらなる協力が要請された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1. 医師、歯科医師、看護師などで構成する巡回診療チームとともに、予防医療の観点から地域住民に対して保健衛生(健康管理、疾病予防、栄養改善、家族計画等)に係る指導・助言を行う。(地域住民の代表的な疾病は、糖尿病、高血圧症、肥満、虫歯など。)

2. 保健・衛生・環境局において、予防医療の観点を取り入れた地域医療計画、モデル作成について提言・協力する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

巡回診療バス(エスペランサ号)

4)配属先同僚及び活動対象者

保健課長:男性 医者 50歳代
看護師:女性

5)活動使用言語 （ スペイン語 ）

6)生活使用言語 （ スペイン語 ）

7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許（ 保健師 ） 又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：幅広い経験・知識が必要
- 理由：

活動上の車車／自転車の必要性: ○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度: ○ 可 春募集時のみ適用 / ◉ 否 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖気候 ） 気温（ 3～34 ℃位） 電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

通信（ [] インターネット可 [] 電話可 [] 無線 ） 水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 4 日

要請番号（ SL 139 - 14 - C - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
サモア	（コード H108 ） 臨床検査技師	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　国民保険機構

2)配属先名（日本語）　サモア国立病院　○ NGO

3)任地 ウポル島 モトツア

JICA事務所の所在地（ アピア ）から 南 方向 1 Km

主要都市（ アピア ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 0.1 時間）

4)配属先の規模・事業内容

当国で唯一高度な専門的医療を受けることができる国立の総合病院。中国政府支援による建替え工事が現在進んでおり、2013年7月に現病院のサービスの一部が新病院へ移転された。臨床検査部門は最初に移転された部門の1つで、サモア全土の医療機関からの検査依頼を受けており、国内にて検査が困難な場合はニュージーランドなどへ検査を委託している。

要請概要

1)要請理由・背景

サモア全土の検査依頼が集中する臨床検査部門であることから、素早く正確なデータを医師へ提供することが求められるが、マネージメントの問題からスムーズな運営ができているとは言い難い。検査業務は過去数代によるJICAボランティアの支援や留学等により技術的には問題ないが、臨床検査部門のマネージメントに問題があり、2012年10月までSVが本部門トップであるマネージャーをカウンターパートとし検査レベルや労務管理など部門全体の運営改善の活動を行っていた。しかしながら、まだ十分といえないことからこの要請に至った。
新病院での検査機器の配置なども含めて適宜助言することになる。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

検査部門全体のマネージメント力を向上させることを目的とし、臨床検査部門マネージャーと協働して以下の活動を行う。
1.国立病院臨床検査部門全体の業務改善に取り組む
2.各自が行っている通常業務の見直し、効率化に向けた改善策の提案
3.検査技師の技術能力向上に向けた助言(必要に応じトレーニングプログラム等の立案・実施)
4.検査室及び機器の維持管理に向けた助言

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

インキュベーター、遠心分離機、保存庫、試薬等の各種臨床検査業務に必要な機材及びコンピュータ
執務室の机・椅子

4)配属先同僚及び活動対象者

臨床検査部門マネージャー(男性、50代)
臨床検査技師

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ その他 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 臨床検査技師 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：技術・管理業務の助言を行うため
- 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SV は通年対象外）

地域概況

気候（熱帯海洋性気候 ）気温（ 20～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（ ☐ インターネット可　☐ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号（ SL 018 - 14 - C - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
タイ	（コード H112 ） 言語聴覚士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代日	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 教育省

2)配属先名（日本語） マヒドン大学ラマティボディ病院医学部コミュニケーション障害科学学科 ○ NGO

3)任地 バンコク

JICA事務所の所在地（ バンコク ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ バンコク ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は1943年に設立され50年以上の歴史を持つ総合医科大学。首都バンコクの3カ所のキャンパス内に、医学部をはじめ14の学部を有する。同学科は2010年11月に言語聴覚士養成コースとして独立し、これまでに約200名の有資格者を輩出した。同名総合病院内に教育設備を併せ持ち、発話病理学専攻と聴覚学専攻に分かれ指導している。毎年約30名の学部生と2年毎に8～10名の院生が入学。現在同病院の患者は構音・音声障害を中心に増加傾向にあり、年間患者数は約2万人に上る。

要請概要

1)要請理由・背景

近年タイでも言語障害・摂食・嚥下障害を持つ患者は急増しているが、言語聴覚士(ST)による治療の歴史は浅く認知度は低い。タイ国内唯一の専門職養成機関である同大学においても人材育成、患者対応共に十分な対応が整っておらず、現在欧米より一定期間指導者を招き講義機会を設ける等、治療技術向上に努めている。
今後さらにニーズは高まると予想されるため、増加する患者への効果的な治療技術の向上と人材育成への支援を求め、本要請に至った。理論と臨床両面における豊富な経験を持つSVが望まれている。
また配属先教員と共に近隣福祉施設等に出向き、施設入所者に対して治療を行う場面も想定されるため、タイ語を母語とする現地STとの英語またはタイ語による協力が必要となる。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

- 学部生、学生、及び言語聴覚士に対する、治療技術向上への支援。
（特に無喉頭音声、運動性発話障害、失語症、嚥下障害、口唇口蓋裂、吃音障害のある入院・外来患者への治療）
- 学部生、院生に対する英語による講義、及び個別指導への協力。
- 効果的な治療プログラム、検査・治療用教材の紹介。
- 配属先スタッフが行っている調査研究への協力。
- 近隣の福祉施設などへ訪問するSTへの同行及び協力。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

Nasometer II 6450、Computerized Speech Lab (CSL) 4500、Electroglottograph Dr.speech

4)配属先同僚及び活動対象者

病院配属スタッフ:25名(発話病理学10名、聴覚学11名、聴覚技師4名)
学生指導担当:16名(発話病理学10名、聴覚学5名、特別支援教育1名)

カウンターパート:学科教授(言語聴覚士)女性 40歳代 経験20年

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ タイ語 ）

7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 言語聴覚士 ） 又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 修士 ）（ ）理由：大学院生への指導が必要なため
- 経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：教師陣への助言が求められるため
- 理由：

活動上の車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可 ◉ 否（春募集時のみ適用 SVは通年対象外）

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ） 気温（ 22～38 ℃位） 電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

通信（ ☐ インターネット可 ☐ 電話可 ☐ 無線 ） 水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号（ SL 312 - 14 - C - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
チリ	（コード H113 ） 作業療法士	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） 地域リハビリテーションセンター カルメラ・カルバハル　○ NGO

3)任地 プエルトモン

JICA事務所の所在地（ サンティアゴ ）から 南 方向 1016 Km

主要都市（ プエルトモン ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

カルメラ・カルバハル医療センターは1972年に設立された、プエルトモン市に5つある公立医療センターの1つである。診療患者数約200人/日、職員約65名。入院設備なし。配属先のリハビリセンターは同医療センター内に2006年11月に草の根・人間の安全保障無償資金協力で設立された。運動療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚士1名。来所患者数約50人/日。地域リハビリセンターとしての主な働きは、神経疾患や筋骨格疾患による障害を持つ患者へ個別・集団のリハビリを家族参加型で実施することである。また来所不能な患者の家庭を訪問し、利用者の住環境を知り、介護する家族へ適切な助言を行うことである。

要請概要

1)要請理由・背景

同センター配属の初代作業療法士SVは、同センターを含めその他、作業療法士・理学療法士などが不在のセンターに対して、評価・介護・治療・予防を含めた指導を一般介護スタッフへ実施した。2代目SVは初代の活動を引き継ぎつつ、作業療法の提供拡大、リハビリテーションに関する技術交流、在宅での訪問リハビリ等活動範囲を広げ高い評価を得ている。周辺の小センターは2010年2月の大震災での被災以降、利用者に対するリハビリ実施の復旧が思うように進まない状況もあり、引き続き同センター及び周辺センタースタッフへの指導を希望しており今回の要請に至った。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・同センターにおける作業療法士への技術指導
・同センター以外のリハビリテーションセンターにおける地域リハビリテーションへの協力
・作業療法に関する知識普及・提供拡大
・リハビリテーションに関する情報提供、技術交流のアドバイス等を行い、同センターの地域リハビリテーションの充実に貢献する

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

リハビリテーション診療室・リハビリテーション機材(サンディングボード、ペグボード、アクリルコーン等の訓練道具やスプリント作成用熱可塑性プラスチック(ヒートガン等作成器具含む))

4)配属先同僚及び活動対象者

C/P:作業療法士 女性 20代(大卒)。
配属先同僚:地域リハビリセンターの看護師、理学療法士、運動療法士、医師など
活動対象者:リハビリセンター来所者、在宅リハビリ対象者等

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語
スペイン語 （レベル: D ）
又は
英語 （レベル: D ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ 作業療法士 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：業務遂行上必須
・ 地域リハビリの実務経験 理由：業務遂行上必須

活動上の車車／自転車の必要性
○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度
○ 可　春募集時のみ適用
◉ 否　SV は通年対象外

地域概況

気候（地中海性気候 ）気温（ 乾季9～4月、雨季5～8月、0～30 ℃位）電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
通信（☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線 ）水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号(SL 312 - 14 - C - 11)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
チリ	(コード H113) 作業療法士	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健省

2)配属先名 (日本語) ペドロ・アギレ・セルダ国立身体障害者リハビリテーション病院 ○NGO

3)任地 サンティアゴ

JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km

主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

配属先はチリ国唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25才迄の身体障害者、さらに切断や脳血管障害による成人身体障害者に対し身体・精神・社会的な視点から総合的リハビリ治療を行う他に、大学教育、人材育成、研究活動も実施。職員149名。病床数39であるが、入院、診察、地域リハビリにより年間5000名を診察。リハビリチームはリハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、特殊学校から成る。JICAは、身体障害者リハビリテーションプロジェクト、第三国研修等の南南協力、ボランティア(言語聴覚士、歯科衛生士等)派遣実績あり。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先の作業療法チームには9名の職員がおり、そのうち7名が幼児・子供、1名が成人、1名が就労支援の担当者である。配属先では治療法としてボバース概念に基づく神経発達学的手法を取り入れている。配属先の患者の臨床及び就労支援における評価、診断、治療、患者家族との連携、関連テーマの研究における改善を目指しており、これらの活動支援を行えるボランティアが求められている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1. 配属先の患者の臨床及び就労支援における評価、診断、治療における配属先同僚への指導
2. 患者家族との連携における配属先同僚への指導
3. 上述1.及び2.の活動及び課題点について作業療法士チーム及びリハビリチームへの指導
4. 上述3の結果を活用し、保健省の病院及び関連機関ネットワークに属するリハビリ分野の職員向けの研修
5. 配属先で実施している関連分野の研究開発への支援

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

神経発達学的治療(ボバース)用器具、感覚統合療法器具、装具作製機器等

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚
・30代前半男性(作業療法士)
・作業療法チーム長

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許 (作業療法士)
又は ( )
・性別 ( ) 理由:
・学歴 ( ) ( ) 理由:
・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要
・ 理由:

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(地中海性気候) 気温(乾季9~4月、雨季5~8月、0~30 C位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)

通信([ ] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号（ SL 333 - 14 - C - 07 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
ウルグアイ	（コード H113 ）作業療法士				26 / 4	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） ピニェイロ・デル・カンポ病院　○NGO

3)任地 モンテビデオ市

JICA事務所の所在地（ モンテビデオ市 ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ モンテビデオ市 ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同病院は、1860年に貧困者の収容施設として発足、病院機能を備えた後、2001年に高齢者専門病院(276床)として開業した。以降、国内唯一の高齢者専門病院として当国でモデル的役割を担っている。65歳以上の政府保健サービス局の保険加入者で、老年期障害のある人や身寄りもなく経済的に生活ができない人等の社会的弱者に対し、ロングステイやデイケア、家族に対する介護指導などの医療サービスを提供している。作業療法士2名のほか、老人病専門医14名、精神科医、整形外科医、理学療法士、ソーシャルワーカー、臨床心理士等、医療スタッフは約60名。これまで高齢者介護・福祉の指導科目でSVが3名派遣されている。

要請概要

1)要請理由・背景

同病院で作業療法士が対象とするのは、主に老年期障害である。脳血管障害や、骨関節障害、骨折、老年期認知症などの疾患や、これらに起因する心身機能の障害が主な対象疾患である。整形外科医のもと、作業療法士2名が環境調整や福祉用具の選定・自助具などの作成を行いながら、日常的・社会的な自立の獲得と習熟に努めている。高齢化が進む同国であるが、国内で作業療法士の専門課程が設立されたのは10年程前と歴史が浅く、作業療法士の資格を持つ者は国内で極少数である。その内2名が同病院で勤務しているが、両者とも経験年数が4年と短いため、適切な作業療法技術と幅広い知識の習得が課題として認識されている。同病院が提供する作業療法サービスの内容の充実、質の向上を図りたいとして、実務経験が豊富なボランティアが要請された。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

本案件の先行案件としてH25年度第4回短期募集で短期案件(7か月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。

1.作業療法士を含む同病院の関係者に対し、作業療法の適切な技術・知識の習得に協力する。
2.同病院の作業療法サービスの内容の充実、質の向上に向けた助言・協力を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

作業台、椅子、工具、車椅子、パソコン等の作業療法機材

4)配属先同僚及び活動対象者

病院院長 50代 女性
整形外科医 女性
作業療法士 30代 男女各1名 経験4年

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語 スペイン語（レベル：C）又は（レベル： ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 作業療法士 ）又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：幅広い知識・経験を要する
- 老年期障害領域の経験　理由：高齢者専門病院であるため

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可（春募集時のみ適用）◉否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（温暖気候 ）気温（ 3～34 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号(SL 333 - 14 - C - 10)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代日	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
ウルグアイ	(コード H113) 作業療法士				26 / 4	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 国際協力庁

2)配属先名(日本語) テレトン基金小児リハビリテーションセンター ◉NGO

3)任地 モンテビデオ市

JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km

主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

テレトン基金は肢体不自由児のリハビリを通じた成長発達と社会参加を支援するため、1978年にチリで設立された福祉財団で、現在では中南米13カ国に支援の輪が広がっている。当国での設立は2003年。配属先となるモンテビデオ市のほか、フライベントス市に通所型のリハビリセンター(対象18歳以下)がある。作業療法士のほか、理学療法士、整形外科医、精神科医、小児神経科医、言語聴覚士等約70名の医療スタッフが連携して治療・リハビリを行っている。年間の患者は約2800人。その内約4割が2歳以下の乳幼児である。予算は主にテレビキャンペーンを通じた市民からの寄付金と患者の経済状況に応じて受領する診察料からなる。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先の作業療法士が対象とするのは主に小児疾患で、脳性麻痺が約4割、その他二分脊椎、脊髄損傷、外傷性脳損傷、神経・筋疾患等が代表的な疾患である。関係領域の専門医等と連携し、作業療法士7名が基本的な心身機能の発達促進や日常生活活動の獲得のために努めている。配属先の作業療法士は、米国やアルゼンチン等国外で資格を取得しており、一定レベルの技術・知識はあるといえるが、当国で作業療法士の専門課程が設立されたのは10年程前と歴史が浅く、国内で十分な経験を持った作業療法士は極少数であることから、資格取得後の研鑽の機会が少なく、技術・知識のフォローアップ、向上が課題として認識されている。実務経験が豊富なボランティアと協働することにより、適切な作業療法技術の習得のほか、新しい有効な作業療法のアプローチやアイデアを取り入れて、現在提供している作業療法サービスの内容、質の向上に繋げたいとして今回の要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

本案件の先行案件としてH25年度第4回短期募集で短期案件(4か月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。

1.同僚と協働しながら、適切な作業療法技術・知識の習得に協力する。
2.(当国の現場では見られない)日本における経験から効果的と考えられるアプローチや、自助具、訓練器具、教材などの新しいアイデアを紹介、意見交換しながら、作業療法サービスの内容・質の向上を支援する。
3.配属先は当国の作業療法士専門課程の実習先ともなっているところ、実習生へのアドバイスも期待されている。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

作業台、椅子、マット、ロール、車椅子、パズル等ゲーム、パソコン等の作業療法機材

4)配属先同僚及び活動対象者

作業療法科責任者:50代女性 経験25年
同僚:6名(経験10年:2名、経験6年:2名、経験5年:2名)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許(作業療法士) 又は( )
- 性別( )理由:
- 学歴( )( )理由:
- 経験(実務経験)(10年以上)理由:幅広い知識・経験を要する
- 小児対象施設での実務経験 理由:小児疾患が主な疾患のため

活動上の車車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(温暖気候) 気温(3~34 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信([ ]インターネット可 [ ]電話可 [ ]無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項 スペイン語で活動ができる場合、その点を語学力申告台紙に記載して下さい。

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 2 日

要請番号（ SL 475 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
チュニジア	（コード H113 ） 作業療法士				26 / 4	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 社会問題省

2)配属先名（日本語） NGO肢体不自由者協会(AGIM)本部 ◉NGO

3)任地 チュニス県バルドー市カズナダール

JICA事務所の所在地（ チュニス県チュニス市 ）から 西 方向 10 Km

主要都市（ チュニス県チュニス市 ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 0.4 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、身体障害者と重複障害者を受け入れている通所施設で、全国の約20の支部の本部も兼ねており、通所者に対するリハビリや社会・余暇活動参加機会の提供、また社会適応のための教育や職業訓練機会の提供を行っている。現在4～15才の子どもたち約120名が在籍しており、多くは脳性麻痺による障害を抱えている。教育部門においては、算数・国語(アラビア語)などの基礎教育指導が行われ、リハビリ部門では、理学療法、言語療法、作業療法が行われている。今年はドイツから歩行器の機材供与を受けた。予算は年間約990万円。同本部へのボランティア派遣は今回が初めてであるが、現在地方支部にて、1名の隊員が派遣されている。

要請概要

1)要請理由・背景

当国の障害者支援は、国営の障害者施設が未だ十分に発達していないため、代わりに同配属先の様なNGOが、社会問題省からの補助金援助などを受けながら、個々に行っているという状況である。そのため、運営資金面や教育やリハビリの質を確保するという面において困難を多く抱えている。同分野にはこれまでに地方支部に多くの協力隊員派遣を行ってきており、地域の草の根レベルの支援に寄与してきた。今回、首都近郊に位置する本部に初めてSVを派遣することで、現場のリハビリ支援だけではなく、本部から地方支部への発信や連携を強化するということを目指している。また、チュニジアにおいては、まだ十分な数の作業療法士がおらず、作業療法自体も十分に普及していないため、作業療法の大切さや意義等の理解を保護者や関係者に促すことも期待されている。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

配属先において同僚の職員と協力し、以下の業務を行う。
①作業療法を必要とする通所児を対象にリハビリを行いながら、より質の高い障害者支援提供を目指し、配属先にアドバイスを行う。
②自宅で出来るリハビリなどに関して、保護者に助言を行う。
③地方支部の療法士と勉強会を行うなど、本部と地方支部の連携強化を支援する。
④その他、チュニジアの同分野におけるより効果の高い協力のあり方を考え、関係者に適宜アドバイスを行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

作業療法室(現在新たに設置中)、作業療法に必要な用具、その他ボランティアが必要な物は購入可能とのこと

4)配属先同僚及び活動対象者

- NGO会長:男性1名、50代、大学教授
- 本部支部長:男性1名、40代
- 施設長:男性1名、40代、障害を抱えている
- 通所児:4～15才の障害児、重複障害児約120名
- 全職員:45名(うち大卒特別教育士15名)
- 理学療法士3名、言語聴覚士2名、作業療法士1名(女性20代大卒)、心理学士1名

5)活動使用言語 （ フランス語 ）
6)生活使用言語 （ フランス語 ）
7)選考指定言語 フランス語 （レベル: B ） 又は （レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 作業療法士 ） 又は（ ）
- 性別（ 女性 ）理由：同僚やイスラム文化に合わせて
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：業務内容上必要
- 障害者分野でのリハビリ施術経験 理由：対象者に合わせて

活動上の車車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 春募集時のみ適用 ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（地中海性気候 ） 気温（ 3～45 ℃位） 電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ） 水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。配属先のHPは、www.agim.org.tn である。

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 25 年 12 月 11 日

要請番号(SL 227 - 14 - C - 02)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
エルサルバドル	(コード H114) 理学療法士	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2 年 ○1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 障害者リハビリテーション研究所

2)配属先名(日本語) 東部総合リハビリセンター ○NGO

3)任地 サンミゲル県サンミゲル市

JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 東 方向 138 Km

主要都市(サンミゲル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

配属先は当国に存在する多くの様々な障害者への対応、そして医療サービスの質の向上を目指すことを目的に1961年に設立された障害者リハビリテーション研究所の東部地域を統括する機関として1987年に開設された。配属先では理学療法、作業療法、言語療法、学習療法、運動療法(治療体操)、及び心理療法が行われ、東部4県から訪れる年間約4千名の患者に各種医療サービスを提供している。2013年の年間予算は約70万米ドルで、職員数は58名である。
現在、前任者にあたるSVが活動中(2015年3月終了予定)である。また、1998年には在エルサルバドル日本大使館の支援により医療資機材供与が行われた実績がある。

要請概要

1)要請理由・背景

配属部署となる理学療法科は小児と成人部門に分かれており、14名の理学療法士により、脳性麻痺、精神運動発達遅滞、生活習慣病、整形外科(骨折)疾患、脳卒中、脊髄損傷など年間約2500名の患者にリハビリを行っている。
現在、活動中のSVは小児部門で活動しており、従来のリハビリマットを拡張し、必要な動作練習を伴った運動療法の導入に取り組んでいるほか、配属先に来る臨床実習生への実習指導や配属先のカルテデータを収集し、疾患・患者の地域別傾向分析を行い、地域に即した研修会実施に向けた準備を行っている。
しかし、各活動を軌道に乗せ、成果を求めるには中長期的なスパンで協力支援していくことが大切である。また、配属先は将来的に成人部門への支援も同様に視野に入れているため、上記の内容を継続・発展することができるボランティアが必要とされていることから、本申請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.小児理学療法部門の理学療法士に対し、必要な動作練習を伴った運動療法が定着するような助言・指導を行う。
2.配属先で臨床実習を行う大学生に対し、OJTを通じた指導を行う。
3.配属先のカルテデータの分析結果を基に、地域・リハビリ関係者に則した講習会を行う。
4.配属先の理学療法士に対し、包括的な技術的支援に繋がる助言、提言を行うと共に、ニーズに応じた勉強会を実施する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

小児理学療法室:リハビリマット(35㎡)、小児リハ器具(バルーン等)、成人理学療法室(極超短波療法、TENS等完備個別診療室9室)、ホットパック及び平行棒、筋トレ器具、エルゴメーター配備運動指導室

4)配属先同僚及び活動対象者

理学療法科責任者:女性、40代、JICA帰国研修員
小児部門、同僚5名、成人部門、同僚9名
平均経験数10から20年程度

国立大学理学療法士養成課程 臨床実習生年間3名(6か月間)、実習授業(評価実習)による学生訪問年間18名(3人1組、各1か月)

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許(理学療法士) 又は ( )
- 性別( )理由:
- 学歴( )( )理由:
- 経験(実務経験)(10年以上)理由:指導に必要であるため
- 理由:

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯性気候) 気温(15～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信([-] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期（ 長期 SV ）

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号（ SL 327 - 14 - C - 03 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ペルー	（コード H114 ） 理学療法士	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 4 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） 日ペルー友好・国立障害者リハビリテーションセンター　○NGO

3)任地 リマ市チョリーヨス区

JICA事務所の所在地（ リマ市サン・イシドロ区 ）から 南西 方向 10 Km

主要都市（ リマ市サン・イシドロ区 ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 0.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

障害者リハビリテーション医療の国内最高位の機関。日本の無償資金協力により移築され、2013年1月本格稼働開始。職員数520名、うち医師71名(リハビリテーション医14名)セラピスト109名(PT60名、OT24名、ST25名)、看護師70名。運動障害(脊髄損傷、脳血管疾患)、認知障害(知的障害、高次脳機能障害)、言語聴覚障害、脳性麻痺児等への外来リハ診療が中心。1日の外来患者数は約550人。ソーシャルワーカーや心理療法士とのチームリハも行っている。入院施設は脊髄損傷患者のみ対象で36床。年間予算は約2000万米ドル。2013年3月からSV派遣を開始し、現在4名(うち理学療法士2名)が活動中。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先は、現在活動中の理学療法士SV(活動期間:2013年3月～2015年3月)の支援により、現地理学療法士4名による担当チームを組織し、2013年10月運動療法の一環として中・重度脳血管障害者に対し、スポーツプログラムを導入した。現在は風船バレー、グランドゴルフ、フライングディスクに取り組んでいるが、今後はボッチャ、フットベースボール、卓球バレー等も導入予定である。しかし、ペルーでは障害者スポーツ分野は未だ確立されておらず、同センターにも十分に指導できる人材がいない。各種目の取り組みは現時点ではレクレーションレベルの域を出ないものの、配属先は患者個々の評価も行いながら、より効果的な運動療法プログラムを進めたい意向であり、継続支援が求められている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

障害者スポーツの実施促進を含む運動療法プログラムの改善及び現地理学療法士の能力強化のため、主に以下の活動を行う。
①個々の患者に対する評価及び運動療法計画策定、実施支援
②主に中・重度脳血管障害者に対する個々の障害の程度に応じた風船バレー、グランドゴルフ、フライングディスク、ボッチャ、フットベースボール、卓球バレー等の障害者スポーツの取り組み促進支援
③運動療法、障害者スポーツ指導に関するPTスタッフの自主研修会の計画、実施支援

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

屋内多目的ホール、屋外コート、バスケットボール、バレーボール、グランドゴルフ用具一式、フラフープ、その他各種目に必要な用具は代用品の利用か手作りで賄う。執務室(PC、インターネット、プロジェクタ)

4)配属先同僚及び活動対象者

同僚:
リハビリテーション医(40代男性経験16年)、理学療法士チーフ(40代女性経験23年)、障害者スポーツ担当理学療法士(30～40代男女4名、経験12～23年)
対象者:
中・重度脳血管障害等患者

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: D)
又は
スペイン語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ 理学療法士 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：現地スタッフも活動対象となるため
・ 障害者スポーツ指導経験 理由：現地スタッフも活動対象となるため

活動上の車車／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 春募集時のみ適用
◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（砂漠気候 ）気温（ 10～25 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 25 年 12 月 27 日

要請番号(SL 333 - 14 - C - 05)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代日	○2年 ◉1年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
ウルグアイ	(コード H114) 理学療法士				26 / 4	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健省

2)配属先名 (日本語) 国立外傷・整形外科病院 ○NGO

3)任地 モンテビデオ市

JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km

主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

同病院は外傷、整形外科専門の国立病院(87床)。医療費は無料で、貧困層の患者が多くを占めている。患者の約半数が地方の病院から転院してくるほか、大学医学部の実習先となっているなど、同分野の中核病院として国内で重要な役割を担っている。理学療法士9名のほか、医師100名、看護師160名、義肢装具士2名、臨床心理士等、医療スタッフは約460名。一般外来患者数(2600人/月)、救急外来患者数(2200人/月)、手術件数(200件/月)。病院建屋の老朽化のため、2014年前半に市内の別の場所に移転予定である。過去に看護師のSVが1名派遣されており、看護部長はJICAの課題別研修を受けた元研修員である。

要請概要

1)要請理由・背景

SVの所属先となる理学療法部は、リハビリ科、電気診断科、装具製作科からなり、リハビリ専門医4名、理学療法士9名、義肢装具士2名、神経生理学専門家1名が約1000人/月の患者を受け入れ理学療法を行っている。配属先の理学療法士は一定レベルの技術・知識はあるといえるが、資格取得後の研鑽の機会が少なく、既存の技術・知識のフォローアップや新しい技術の習得が重要な課題となっている。特に頸部、腰背部痛や四肢の痺れを軽減する徒手療法やストレッチ等の運動療法や、腰痛症等を診るのに役立つ姿勢観察及び評価の手法については、当国の理学療法士養成課程のカリキュラムに含まれていないため配属先は大きな関心を寄せている。同分野で実務経験が豊富なボランティアと協働することにより、現在提供している理学療法サービスの内容の充実、質の向上に繋げたいとして今回の要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同病院の理学療法部で以下の活動を行う。
1. 理学療法部のリハビリサービスの現状と課題を分析・整理し、改善に向けた提案を行う。
2. 徒手療法やストレッチ等の様々な運動療法を紹介、指導する。
3. 姿勢観察・評価の手法について指導する。
4. 可能であれば、筋膜リリース法等について紹介、指導する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

電気治療器、超音波治療器、ベッド、マット、歩行器、手すり、ボール等理学療法器機一式があるが、質・量ともに十分出ない。

4)配属先同僚及び活動対象者

理学療法部長:50歳代(女性)
理学療法士:9名(男性、女性)

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (理学療法士) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務実施上必要
- 理由:

活動上の車車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(温暖気候) 気温(3~34 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)

通信([ ]インターネット可 [ ]電話可 [ ]無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号（ SL 106 - 14 - C - 03 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
フィジー	（コード H115 ） 医療機器	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 4 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） CWM (Colonial War Memorial)病院　○NGO

3)任地 スバ市

JICA事務所の所在地（ スバ市 ）から 東 方向 1 Km

主要都市（ スバ市 ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0.3 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、首都スバに位置する国立総合病院。一般的な診療全般(内科・外科・整形外科・産婦人科・放射線科・婦人科・小児科・歯科・火傷病棟・理学療法科等)を取り扱っており、病院内に医療機器保守管理部門が設置されている。ベッド数438床、医師約50名、看護師428名、放射線技師50名、外来患者数約300名/日。医療機器保守管理に対する年間事業予算は約510万フィジードル(約2億2千万円)。1998年に日本の無償資金協力で小児病棟が建設されている。3基幹病院の1つであるラウトカ病院にも医療機器SVを派遣予定である。

要請概要

1)要請理由・背景

CWM病院の医療機器保守管理部門では医療機器の導入設置から維持管理・修理を約10名の技術者が行っている。多種多様な医療機器の修理に対応するため、技術者は実務を通じての技術習得が必要となっているが、基礎知識や経験も浅く応用力も不足している。また経験を積んだ技術者は、良い待遇を求めて海外に移住することも問題の一つであり、人材育成の指導者不足に見舞われている。JICAボランティアは前任者に引き続き、医療機器全般の修理および保守に関する技術が求められており、現地技術者に対して故障中の機器の修理から日常保守技術のアドバイスが期待されている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

主に病院の医療機器保守部門で現地技術者とともに以下の活動を行う。
1.医療機器全般(X線装置、麻酔器、生化学検査機器、歯科機材など)の保守管理、修理を行う。
2.現地職員に対し、OJTを通して医療機器保守技術に関する全般的な指導及びアドバイスを行う。
3.現地職員に対し、基礎知識レベルアップのためのトレーニングを実施する。また、医療機器教材Vol 2を作成する。
4.患者・医療関係者の安全の為の電気安全試験を行う。(機器の患者漏れ電流等の測定)
5.機材の休止期間短縮のために、補修部品の適正在庫を確保する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

電気安全試験機・オシロスコープ・ディジタルマルチメーター・X線KVメーター・心電図シュミレーター・電子式圧力計・その他多数あり

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先責任者・医療技術技師:男性 50代 経験年数30年
主任技術者:男性 40代 経験年数25年
技術者 7名:男性・女性 20～30代 経験年数1～5年

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: C)
又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：修理技術・指導が必要なため
・ 理由：

活動上の車両／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 春募集時のみ適用
◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯海洋性気候 ）気温（ 15～35 ℃位）
通信（☑インターネット可 ☐電話可 ☐無線 ）
電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号(SL 106 - 14 - C - 04)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
フィジー	(コード H115) 医療機器	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 3 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 保健省

2)配属先名(日本語) ラウトカ病院 ○NGO

3)任地 スバ市

JICA事務所の所在地(スバ市)から 北西 方向 220 Km

主要都市(スバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容

配属先の病院はビチレブ本島西部地区(ラウトカ、ナンディ、バ、シンガトカ等)の中核病院として、一般的な診療全般を取り扱っている(内科・外科・整形外科・産婦人科・婦人科・小児科・歯科・理学療法科等)。ベッド数350床、医師約50名、看護師327名、職員数1162名、外来患者数は約250名/日。
病院内に医療機器保守管理室が設置されており、上記西部地区病院に納入されている医療機器の保守点検管理および修理をしている。外国援助機関からの人材派遣は行われていないが、韓国政府より多数の医療機器が無償供与されている。首都スバにあるCWM病院にも医療機器SVを派遣予定である。

要請概要

1)要請理由・背景

JICAボランティアは前任者に引き続き、医療機器全般の修理及び保守に関する技術が求められており、現地技術者に対して故障中の機器の修理から日常保守技術のアドバイスが期待されている。また、同病院の医療機器保守管理室では、フィジー保健省が定める標準業務手順書(オーストラリア/ニュージーランド医療機器規則AS3551)を準用し、医療機器メンテナンスを遂行している。同規則に従い、納入先管理、事故来歴も管理カードに記録を残しているが、それを予防保全、作業品位向上に結び付ける方策が取られていない。前任SVは医療機器保守経歴データベースを構築し、保守作業品位、品質の向上を図った。このデータベースの定着、安定運用をサポートするためデータベース管理に関する知識も求められる。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.医療機器全般であるが中・小型機器を主に保守管理、修理を行う。(ベットサイドモニター、麻酔器、電気メス、未熟児保育器、生化学検査機器、歯科器材など。X線装置・CT等の大型機器はメーカーとの保守契約で対象外。)
2.現地職員に対し、OJTを通して医療機器保守技術に関する全般的な指導及びアドバイスを行う。
(ベテラン技術者が確実に修理を行っており、作業自体の指導より効率、精度向上策の立案、指導が求められている。)
3.保守技術データをデータベース管理に移管し、一連の保守作業の効率、精度向上を図る。
4.サービスマニュアルをPDF化し、データベース化を図る。
5.機材の休止期間短縮のために、補修部品の適正在庫を確保する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

電気安全試験機・オシロスコープ・ディジタルマルチメーター・X線KVメーター・心電図シュミレーター・電子式圧力較正器・デジタル絶縁テスター等その他多数。データベースソフト:ファイルメーカー

4)配属先同僚及び活動対象者

技術者(C/P):男性50代 経験年数30年
日本メーカーでX線装置3ヶ月研修経験あり

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (英語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許( )
又は( )
・性別( )理由:
・学歴( )( )理由:
・経験(実務経験)(10年以上)理由:修理技術・指導が必要なため
・ 理由:

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯海洋性気候) 気温(15~35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信([ ]インターネット可 [ ]電話可 [ ]無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号（ SL 551 - 14- C - 10 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
ザンビア	（コード H115 ） 医療機器				26 / 4	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育・科学・職業訓練・早期教育省

2)配属先名（日本語）　エブリン・フォン短期大学　○NGO

3)任地 ルサカ州ルサカ市

JICA事務所の所在地（ ルサカ ）から 市内 方向 0 Km

主要都市（ ルサカ ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

ザンビアの首都ルサカの中心部に位置する総合短期大学。学生総数約5000人(男女比はほぼ半々)、教授・講師総数約200人。3年制で、卒業時に学士を取得。今回要請の上った保健学部は5学科に分かれており、①薬学科②検査技術学科③衛生環境学科④放射線技術学科⑤理学療法学科がある。短大全体の年間予算約8億円(2013年)。同分野でのJICAによる技術協力プロジェクトは、質の高いケアサービスの提供、治療マネジメント体制の強化を目的とした「HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト」や、子供の成長チェック・地域の環境衛生改善等を目的とした「都市コミュニティ強化プロジェクト」等が展開中である。

要請概要

1)要請理由・背景

当該短期大学の保健学部の学生総数は約1,700人、教授・講師総数約77人。上記5学科の内、放射線技術学科には生徒約200人、講師16名。この度同科内に「医用生体工学専攻」を新設することとなった。同専攻コースは2014年1月より開始予定。要請されたのは、医用生体工学の指導が行える人物。カリキュラムはザンビア国内共通のものがTEVETA(技術協力・職業訓練・起業家育成機構)よりすでに策定済みであるが、同技術における指導者が不足かつそのレベルも高いものとは言えない。派遣されるSVには、医用生体工学の講師の指導を行うとともに、直接生徒への実習が期待されている。学生の授業形態は、1年目に理数科系の一般教科を勉強し、2年目に医用生体工学の理論や実習を学習、3年目は他機関(企業や病院)での実習を行った後卒業論文作成となっている。短大に実習室の設備がないため、ザンビア大学付属教育病院にて行っている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

・放射線技術学科の講師に、医用生体工学の指導法を教授する。
・同僚講師とともに教壇に立ち、授業を行う。
・講師や学生たちと勉強会を行い、さらなる技術向上に貢献する。
・当国における将来の医用生体工学の充実を図るための助言を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

医療機器チェッカー、心電図シミュレータ、機械工具一式、静電防止マット、定電圧電源、酸素濃度計、電気メス解析装置、デジタルマルチメータ等

4)配属先同僚及び活動対象者

医用生体工学専攻の講師6名(男性5名、女性1名、20～40歳代。内、学科長は放射線および超音波を専門とし大学院卒。他、大学卒(放射線学科)

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ その他 ）

7)選考指定言語　英語（レベル: B ）又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許（ ）又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：配属先同僚の学力に合わせるため
・経験（ 指導経験 ）（ 2年以上 ）理由：講師や学生を指導するため
・ 理由：

活動上の車車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 春募集時のみ適用 ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 5～35 ℃位）電気（○安定 ◉不安定 ○なし）

通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ）水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 25 年 12 月 20 日

要請番号(SL 066 - 14 - C - 02)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
スリランカ	(コード H116) 病院運営管理				/	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健省

2)配属先名 (日本語) ジャフナ教育病院 ○NGO

3)任地 ジャフナ県ジャフナ

JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 400 Km

主要都市(ジャフナ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、外科、内科、皮膚科、小児科等38の診療科(Medical Department)を備えたジャフナ県最大の歴史ある教育病院である。2009年まで26年間続いた内戦の最中も負傷者等多くの患者に対応してきており、医療レベルは高い。現在は、保健省が進める(医療機関の)品質向上プログラムのパイロット病院として選定され、院内に設立した品質管理委員会の指揮下、病院運営管理の改善に向けて取り組んでいる。2013年後半にJICAの無償資金協力によって病棟や管理棟が増改築された。医療スタッフは約320名(大卒者約260名、修士約60名)に上る。年間予算は約1億7千万円。

要請概要

1)要請理由・背景

JICAの無償資金協力によって病棟や管理棟が増改築され、病院機能が向上し、現在の病床数は1286、一日の外来患者数は約850人に上るまでとなった。そうした施設面での改善に伴い、医療機材の安全な管理運営に関しても改善を図るべく、病院内で品質管理委員会(構成員は外来病棟主任(大卒)、副ディレクター(大卒)、総務部秘書官(大卒)、婦長(大卒)、アシスタント(高卒))なる組織を立ち上げ、日々医療現場の安全性向上やコスト削減に向けた取り組みを進めている。
こうした状況下、5Sのみならず、KAIZENやTQMの視点をも視野に入れ、医療現場の総合的サービス向上を目指し、経験豊富なシニア・ボランティア人材を要請するに至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

活動先となるジャフナ教育病院において、5S推進委員会と協働し以下の活動に取り組む。
・現行の診療科の中から優先的に5Sを推進するための対象(診療科)の選定。
・対象とした診療科における重点的な5SやKAIZEN活動への取り組み。
・医療従事者のTQMに関する意識向上の支援。
・院内で、5Sなどに関する医療従事者同士の勉強会などの企画・実施を支援。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

医療機材等一式、事務所スペース、机、椅子など

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚
・品質管理委員会リーダー(40代男性)
・同委員会副リーダー(30代男性)

活動対象者
・病院スタッフ

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (その他)
7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許 ( ) 又は ( )
・性別 ( ) 理由:
・学歴 ( ) ( ) 理由:
・経験 ( ) ( ) 理由:
・ **関連領域における実務経験5年以上** 理由:活動に必要

活動上の車車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(サバナ気候) 気温(28～34 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信([-] インターネット可 [-] 電話可 [ ] 無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号（ SL 115 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ミクロネシア	（コード H116 ） 病院運営管理	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　ポンペイ州政府

2)配属先名（日本語）　保健局ポンペイ州立病院 総務課 QAユニット　○ NGO

3)任地 ポンペイ州コロニア

JICA事務所の所在地（ ポンペイ州コロニア ）から 北東 方向 0 Km

主要都市（ ポンペイ州コロニア ）までの交通手段及び所要時間（ 車 で約 0.1 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、州立の総合病院として、州内の診療所からの紹介患者、入院患者及び救急患者に対する医療サービスの提供を行っている。病床数96床、医師を始めとする医療専門スタッフ(約25名)と運営管理を行う事務や機材の保守管理を行うスタッフが勤務している。年間予算は、保健業務を行う部署も含めた局全体で約700万米ドル。2011年まで薬剤管理のSVが派遣され、2014年1月現在、長期SV2名(病院運営管理、医療機器)が活動中である。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先では、2012年11月から2013年4月に病院全体の改修工事実施され、懸案であった医薬品の管理が院内薬局で行われるようになった。在庫管理については一応の改善をみたが、病院全体としての業務の改善が課題となっている。2009年からは、病院の質保証(QA)プログラムが実施され、QA担当者も熱心に取り組んでいるが、病院設立35年を経ており、定着している日常業務を改善することが難しい。現在活動中のSVは、医療機器のSVと共に病院の環境改善、既存のシステムの見直し及びマニュアルの改善などを行っており、徐々に効果が表れている。一方で、設備の経年劣化、予算削減、人員不足など抱える課題も多い。このような状況を踏まえ、QA担当者、病院の各部署と協力し、病院全体の質の向上、システムの改善を継続して行う必要があるため、これらの経験があるボランティアが要請された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.既存のQAプログラム及び各部署のマニュアルに基づき、病院や診療所の運営が適正に行われているかについて、QA担当者と共に各部署の業務の状況を調査する。また、そのデータの分析を行い、業務が効率的に行われるための改善点などについて提案する。
2.既存のQAプログラムのマニュアルについて、QA担当者と共に病院の質の向上のための改定を検討し、新たな視点から病院システムの再構築のための提案を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

事務用機器(机、椅子、コンピューター)

4)配属先同僚及び活動対象者

総務課課長(男性1名)、QAユニット職員(女性1名)
総務課職員は50代から60代の年齢構成
QAは総務課だけでなく、同病院並びに州内のすべての診療所が対象となる。

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: B)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：経験に基づいた指導が必要
- 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～30 ℃位）電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
通信（☑ インターネット可 ☐ 電話可 ☐ 無線 ）水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。

平成 26 年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号(SL 115 - 14 - C - 06)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ミクロネシア	(コード H131) 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代日	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) チューク州政府

2)配属先名 (日本語) 保健局公衆衛生課 ○ NGO

3)任地 チューク州ウエノ島モエン

JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 西 方向 730 Km

主要都市(モエン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容

チューク州は、ミクロネシア4州の中で最も人口の多い州である。一方で、漁業や農業といった地場産業が成長しておらず、加えて他州に比べインフラ整備が遅れており、道路や医療機関などの公共施設が十分整備されていない。配属先は、ウエノ島中心部の州立病院に隣接する保健局の公衆衛生課である。2013年度の年間予算は、443千米ドル。1990年代にJICAボランティアが派遣された実績がある。

要請概要

1)要請理由・背景

ミクロネシアでは、現地で採れる農作物や魚を中心とした伝統の食生活から、海外からの輸入食品に頼る食生活に変化している。その結果、生活習慣病や肥満といった健康問題が表面化している。そのため、チューク州では、栄養士が果たす役割は重要であると考えられ、地域住民の食生活の改善に貢献できる栄養士が必要とされている。これらの状況を踏まえて同配属先は、JICAボランティアとして派遣される栄養士が同僚と協働して、母子を中心とした地域住民を対象に、健康と栄養の改善活動を展開することを期待している。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.食生活改善のための手順の設定と指導ガイドラインの策定
2.食生活改善のための教材作成(広告・パンフレットなど)
3.同僚や地域住民に対する適切な栄養学の指導
4.同州に配属されているSV(健康増進活動支援)との協働活動

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、事務用機器

4)配属先同僚及び活動対象者

同僚:所属長:女性1名50代、医療機関に20年以上勤務
プログラムコーディネーター:女性1名40代、医療機関に20年以上勤務

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (英語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (栄養士) 又は ( )
- 性別 (女性) 理由：女性中心の配属先の希望
- 学歴 ( ) ( ) 理由：
- 経験 (実務経験) (5年以上) 理由：専門的な知識・経験を要する
- 理由：

活動上の車車／自転車の必要性: ○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度: ○ 可 春募集時のみ適用 / ◉ 否 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯雨林気候) 気温(25～32 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

通信([○] インターネット可 [○] 電話可 [○] 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。舗装されている道路が少なく、悪路である。

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号（ SL 115 - 14 - C - 08 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ミクロネシア	（コード H131 ） 栄養士	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　ヤップ州政府

2)配属先名（日本語）　資源開発局農林部　○ NGO

3)任地 ヤップ州コロニア

JICA事務所の所在地（ ポンペイ州コロニア ）から 西 方向 2,250 Km

主要都市（ ヤップ州コロニア ）までの交通手段及び所要時間（ 車 で約 0.2 時間）

4)配属先の規模・事業内容

農林部は、農業普及課、家畜課、森林課、外来生物対策課の4課で構成され、農業普及課の中に栄養計画係がある。同部の職員数は20名で、栄養計画係の担当は2名である。2012年度の年間予算は、農林部:約200千米ドル、栄養計画係:約50千米ドルである。農林部では、1990年から2008年まで、村落開発普及員、野菜、家畜飼育のJICAボランティアが活動していた。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先は、現地食の生産と消費拡大や国内外に向けて販売可能な農産物の生産拡大によって、収入向上へと繋げていくことを目的としている。また、栄養計画係では、栄養に関する啓発活動を通して、住民が健康的な食習慣を身につけるよう指導している。一方、当国には栄養士の資格制度が存在しないため、専門的な知識と経験を有する人材が不足している。そのため、配属先では同僚と一緒になって活動する経験豊富な人材を求めており、JICAボランティアの要請があげられた。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.地元の農産物を使い付加価値のある食品を開発し、その加工方法を紹介する。
2.これまでの料理方法を見直し、材料にあった新しいレシピを作成する。
3.地元の栄養教育委員会(YINEC:Yap Inter-Agency Nutrition Education Council)に協力し、啓発活動のための教材づくりを支援する。
4.地域や学校で開催される啓発活動のための料理教室を支援する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

調理実習室、調理機器(オーブン、冷蔵庫、ミキサー、乾燥機、台所用具一式)、巡回車両1台
ポスター作製用プリンター、移動用調理台

4)配属先同僚及び活動対象者

同僚:女性50代(栄養専門職)看護師経験有
女性20代(助手)経験2年/短大卒

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 （レベル: B ）
又は （レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 栄養士 ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 専門学校卒 ）（ ）理由：専門的な知識を必要とするため
- 経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：専門的な知識・経験を要する
- 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SV は通年対象外）

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）
通信（☑ インターネット可　☑ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 2 日

要請番号（ SL 166 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
パラオ	（コード H131 ） 栄養士	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育省

2)配属先名（日本語）　教育・総務局 フードサービスプログラム　○NGO

3)任地 コロール

JICA事務所の所在地（ コロール ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ コロール ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、パラオ国内にある公立小・中・高校の給食業務を担当している。主な業務は、昼食の献立作り、献立に合った材料や調理場機材の選定、調理場スタッフに対する指導と幅広い。2014年度の年間予算は、721,000.00米ドル(給食材料、人件費全て含んだ額)。1人当たりの1食分に係る予算は、1ドル弱である。

要請概要

1)要請理由・背景

教育省はパラオ国内の公立学校の生徒に対して昼食を提供している。現在は実務経験半年の担当者が給食の運営から管理まで担当している。同担当者は栄養学のバックグランドがなく、また1人当たりの1食分に係る予算が1ドル弱と少額なため、運営を継続させるだけで精一杯な状況である。パラオでは近年、運動不足や食習慣の変化による小児肥満症も増加傾向にあることから、少しでも栄養のバランスの取れた給食の改善に取り組む必要がある。献立の改善を同僚と進めながら、同僚に対する指導を行って欲しいと教育省から要望があり、今回の要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

・既存の献立を基に、限られた予算内で同僚と一緒にバランスの取れた献立に改善していく。
・経験の浅い同僚に対し、学校給食の運営、献立、調理場施設における衛生管理等、幅広く指導する。
・各学校の調理場を巡回視察し、調理方法や安全性、清潔保持等の指導を行なう。
・機材購入の際は、同僚に対して選定方法を指導する。
・学校を巡回し、生徒や保護者に対して栄養に関する啓発活動を行なう。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

MAC PC、プリンター、スキャナー、コピー機

4)配属先同僚及び活動対象者

活動対象者は主に同僚であるが、各学校に1-3人配置されている調理人への支援も対象となる。
・同僚は24歳女性、実務経験半年、短期大学でツーリズムを専攻。
・同僚の他に担当者を1名リクルート中。

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: B)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許（ 栄養士 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 3年以上 ）理由：同僚や学校関係者への指導のため
・ 理由：

活動上の車車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 春募集時のみ適用 ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～30 ℃位）電気（○安定 ◉不安定 ○なし）

通信（]インターネット可]電話可]無線 ）水道（○安定 ◉不安定 ○なし）

特記事項

SVは基本的にアパートや戸建て住居となる。

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 SV ）

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号（ SL 139 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
サモア	（コード H133 ） 感染症・エイズ対策	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代日	○ 2 年 ◉ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　保健省

2)配属先名（日本語）　保健保護・施行部門 公衆衛生・病原体媒介生物コントロール課　○ NGO

3)任地 ウポル島 モトツア

JICA事務所の所在地（ アピア ）から 南 方向 2 Km

主要都市（ アピア ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 0.1 時間）

4)配属先の規模・事業内容

保健省は教育スポーツ文化省と並ぶサモアでも大きな省庁であり、多くの援助機関の支援が入っている。サモアにおける保健政策を立案する機関で、保健に係る研究、新たな疾病発生時の対応・原因究明、人材育成、保健サービスや保健に関する商品の質の管理、突発的事象発生時(感染症の大流行など)や災害緊急対応政策発令、またそれらの計画及びモニタリングを行う。サモア国民に対し、健康を助長し、「ヘルシーサモア」のスローガンのもと生活習慣病の根本的な予防にも努めている。なお、実際の保健サービス実施は国民保健機構(NHS:National Health Services)という別機関が行っている。

要請概要

1)要請理由・背景

保健保護・施行部門下にある公衆衛生・病原体媒介生物コントロール課への配属となり、主に蚊・ハエ・ゴキブリなどの種類を特定し、それらの生物が媒介する病原体について調査する。サモアでよく知られている蚊によって媒介される病気は、デング熱とフィラリアであるが、2012年12月にウポル島を襲ったサイクロン後は、特に今まで見ることのなかった蚊の種類が増えているため、これらの種の特定と病原体の有無を調べることが急務となっているが、実際には効率よく取り行われていないのが現状である。また、蚊・ハエ・ゴキブリを駆除するための薬品選定への助言も求められている。
研究室の管理についても助言が必要とされている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.研究室を利用し、蚊・ハエ・ゴキブリ等の病原体媒介生物の種類を特定し、それらが媒介する病原体の有無・種類を特定する。
2.効果的な病原体媒介生物駆除方法を助言する。
3.研究室の保守管理について助言する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

研究室、顕微鏡

4)配属先同僚及び活動対象者

部門責任者1名 (50代女性、経験20年以上)

公衆衛生担当主任(30代男性、大卒、経験18年)がカウンターパートとなる

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ その他 ）

7)選考指定言語　英語 (レベル: B)　又は　(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚の教育水準と合わせる
- 経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：技術者への助言となるため
- 理由：

活動上の車/自転車の必要性

○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度

○ 可　春募集時のみ適用
◉ 否　SV は通年対象外

地域概況

気候（熱帯海洋性気候 ）気温（ 20～35 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（ ☒ インターネット可　☒ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 26 年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号(SL 139 - 14 - C - 02)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代日	○ 2 年 ◉ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3	年 月 から
サモア	(コード H134) 食品衛生				26 / 4	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 保健省

2)配属先名 (日本語) 保健保護・施行部門 水質課 ○ NGO

3)任地 ウポル島 モトツア

JICA事務所の所在地(アピア)から 南 方向 2 Km

主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)

4)配属先の規模・事業内容

保健省は教育スポーツ文化省と並ぶサモアでも大きな省庁であり、多くの援助機関の支援が入っている。サモアにおける保健政策を立案する機関で、保健に係る研究、新たな疾病発生時の対応・原因究明、人材育成、保健サービスや保健に関する商品の質の管理、突発的事象発生時(感染症の大流行など)や災害緊急対応政策発令、またそれらの計画及びモニタリングを行う。サモア国民に対し、健康を助長し、「ヘルシーサモア」のスローガンのもと生活習慣病の根本的な予防にも努めている。なお、実際の保健サービス実施は国民保健機構(NHS:National Health Services)という別機関が行っている。

要請概要

1)要請理由・背景

2006年保健省の保健保護・施行部門に水質課が設立され、良質な水により国民の生活が保護されることを義務としている。水質課の主な業務として、登録された水供給者(サモア水道公社やボトルウォーター会社など)により提供された飲料水の質のモニタリングと規制がある。
現在、水質課には4名のスタッフしかおらず、その内1名が研究室技術者としてサモア全土の水のモニタリングを担当しているが、効果的に行われていないのが実情であり今回の要請に至った。サモアでは、同じ上水道であっても地域により処理の仕方が異なるため、水質検査を行い常に水質をモニタリングすることが必要とされている。
また、水だけでなく、食品においても定期的なモニタリングが求められている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

1.サンプリングされた水の水質状況や食べ物の安全性を検査する。
2.研究室の管理方法を指導する。
3.ワークショップを企画・運営し、モニタリング技術などを同僚へ助言する 。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

研究室、顕微鏡、インキュベーター(Boekel Scientific)、シーラー(Quanti-Tray Sealer)

4)配属先同僚及び活動対象者

水質課 4名

主任技術者(30代男性、経験4年)がカウンターパートとなる

5)活動使用言語 (英語)

6)生活使用言語 (その他)

7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 ( ) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由：
- 学歴 ( ) ( ) 理由：
- 経験 (実務経験) (2年以上) 理由：技術者への助言となるため
- 理由：

活動上の車車／自転車の必要性: ○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度: ○ 可 春募集時のみ適用 / ◉ 否 SV は通年対象外

地域概況

気候(熱帯海洋性気候) 気温(20～35 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

通信([-] インターネット可 [-] 電話可 [ ] 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 1 日

要請番号（ SL 021 - 14 - C - 06 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
カンボジア	（コード H135 ） 学校保健	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育青年スポーツ省

2)配属先名（日本語）　学校保健局　　○NGO

3)任地 プノンペン

JICA事務所の所在地（ プノンペン ）から 南 方向 0 Km

主要都市（ プノンペン ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

配属先は、学校保健に関する政策策定、保健省や各ドナーとの調整、州レベルでの学校保健に関するモニタリングや評価を実施する機関である。年間予算は約160万米ドル(うち3割が政府独自予算でその他は支援)。総職員数は約40名。事業内容は、衛生・栄養・健康改善や感染症対策、食品衛生など多岐の分野にわたり、各分野のドナー(UNICEF、UNFPA、WHO、UNESCO、GIZ等)の協力を得ながら実施している。過去にVSO(Voluntary Service Overseas)のボランティア(フィリピン人)が配属され、栄養改善に関する活動を行った実績がある。

要請概要

1)要請理由・背景

カンボジアの教育青年スポーツ省は、より良い学校づくりを目指し様々な政策を掲げており、学校保健の向上もその中に含まれている。配属先は、Policy on School Healthを策定し、教員や学生、保護者に対する学校環境や衛生管理、栄養改善、感染症対策、予防接種、健康診断等に関する教育の向上を目指している。国際機関やNGOからの支援を得ながら学校保健の向上に取り組んでいるものの、学校現場に浸透するには至っておらず、職員が様々なドナーの支援を主体的に調整する能力や、政策を現場レベルで実施するスキルが求められている。このような背景から、配属先は、職員の能力向上や政策レベルでの助言のできるSVの要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

・学校保健に関するガイドラインの策定支援
・学校保健関係者に対するワークショップや勉強会の実施
・学校保健に係る支援団体との調整
・支援団体へのプロポーザル作成に関する関係職員への助言
・地方での学校保健に関する指導内容のモニタリングと評価の実施支援

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務スペース、PC、インターネット接続

4)配属先同僚及び活動対象者

局長 40代(女性)(医学博士)
副局長 40代(男性)(医学博士)
課長 40代(女性)
(職員の約3割が医療系バックグラウンドあり)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ クメール語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: B)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：配属先職員とのバランス
・経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：実践力の指導のため
・ PCMの知識　理由：モニタリング・評価の活動上必要

活動上の単車／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可　春募集時のみ適用
◉否　SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯モンスーン気候) 気温(22～38 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信(☐インターネット可 ☒電話可 ☐無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

PCM: Project Cycle Management

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 4 日

要請番号(SL 048 - 14 - C - 05)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ブータン	(コード I101) ソーシャルワーカー	○グループ型 ◉個別	● 新規 ○ 交替 代日	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 薬物依存更生機関

2)配属先名(日本語) 薬物依存更生機関 需要削減部 ○NGO

3)任地 ティンプー県ティンプー市

JICA事務所の所在地(ティンプー市)から 東 方向 1 Km

主要都市(ティンプー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容

2006年に設立された独立機関であり、薬物、マリファナ、アルコール等による依存者の更生施設であり、需要削減部、供給削減部、たばこ規制部の3部から成る。年間予算は20百万ニュルタム(3,500万円)。当機関では、病院、警察、学校、コミュニティと協力しつつ、薬物依存者の撲滅に向けて活動をしている。全国に3か所のリハビリ施設と9か所の相談所(薬物依存から更生した若者をカウンセラーに任命)を設置している。

要請概要

1)要請理由・背景

当国で管理されている鎮痛剤等薬物が国境から密輸入され、青少年への薬物等による汚染が深刻化している状況下にあって、学校、コミュニティーで薬物使用防止対策としての活動が行われているが、スタッフの絶対数が不足していること、担当スタッフの経験が少ないこと等により、効果的な活動展開ができていないのが実情である。薬物対策に係る日本国内での経験を当国での活動の参考にすべくJICAボランティアの要請となった。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

・薬物防止対策に向けた活動計画立案・実施
・薬物防止対策に関し、地域スタッフへの研修
・学校内での薬物防止活動に向けた、学校カウンセラー対象の研修会実施
・リハビリ施設運営に関する助言

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン

4)配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート 2名(男39才 カウンセリング修士、男37才 教育学士)
同僚 20名(25歳～53歳 男14名 女6名)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (英語)
7)選考指定言語 英語 (ﾚﾍﾞﾙ: B) 又は (ﾚﾍﾞﾙ:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許 ( )
又は ( )
・性別 ( ) 理由：
・学歴 (大卒) ( ) 理由：同僚の教育水準と合わせる
・経験 (実務経験) (10年以上) 理由：同僚への指導を行う上で必要
・ 理由：

活動上の車車／自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(温暖冬季少雨気候) 気温(-5～30 ℃位) 電気(○安定 ◉不安定 ○なし)
通信([ ] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線) 水道(○安定 ◉不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 3 日

要請番号（ SL 136 － 14 － C － 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
バヌアツ	（コード I102 ） 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　教育省

2）配属先名（日本語）　(NGO) バヌアツ教育政策擁護連合　◉NGO

3）任地 シェファ州エファテ島ポートビラ市

JICA事務所の所在地（ ポートビラ市 ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ ポートビラ市 ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先は、バヌアツの教育問題、政策に関して調査、政策分析等を行い、教育省を含め国への政策提言、教育関連の市民社会団体へ情報発信を行うNGOである。年間予算はおよそ1800万円。
小規模な団体ながら、各国開発パートナー、バヌアツ国内のコミュニティ団体、市民団体と広範なネットワークを持ち、政策提言活動に加え、農村部でのコミュニティスクールやコミュニティ図書室づくりなどを支援している。

要請概要

1）要請理由・背景

「万人のための教育」(Education for all)を推進するため、バヌアツでは「インクルーシブエデュケーション」(障害のある子もない子も共に学ぶ)政策が取られている。しかしながら、バヌアツには特別支援教育を行う学校はなかったため、障害児教育に関する知識、経験、資格を持った人材は育っていない。政策にのっとり、先進的に障害児の受け入れをはじめた小学校の現場においても、学校・教員への支援はないことから混乱が見られ課題が多い。
従来、学校教育を受けることが難しかった障害児にどのように教育を行い、教育機会を提供していくか、特別支援教育実務の知識と実践を示しつつ、特別支援教育に関して助言と提言が出来る人材が求められ、継続要請となった。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

・「バヌアツ障害者協会」(Vanuatu Society of Disable people)や他のNGOで障害児のための教室を週2回実施している。それらのNGOと連携し、特別支援教育を実践する。

・配属先が行う特別支援教育に関する政策提言活動、レポートの作成に際し、ボランティア自身が持つ経験と知識を共有し、反映させる。

・バヌアツにおける特別支援教育の現状を把握し、特別支援教育のための知識を広げるための研修を企画・実施する。

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

オフィススペース、机、共用のパソコン

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚
コーディネーター(女性、40代、看護師)
プログラムオフィサー(男性 20代)/事務職員(女性、30代)

その他、ボランティアスタッフや、他のNGOのスタッフなど（特別支援教育に関する知識、資格保持者はいない）

5）活動使用言語（ 英語 ）
6）生活使用言語（ 英語 ）
7）選考指定言語
英語 (レベル: B)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ 特別支援学校教諭または養護学校教諭 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 10年以上 ）理由：実務に裏付けられた提言が必要
・ 理由：

活動上の車両／自転車の必要性
○単車　○自転車　◉不要

現職教員特別参加制度
○可　春募集時のみ適用
◉否　SVは通年対象外

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 25～30 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 （ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 1 日

要請番号（ SL 215 - 14 - C - 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
コスタリカ	（コード I102 ） 障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代日	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語） 経済企画省

2）配属先名（日本語） ナショナル大学 教育学部基礎教育科 ○ NGO

3）任地 エレディア県エレディア市

JICA事務所の所在地（ サンホセ県サンホセ市 ）から 北 方向 12 Km

主要都市（ サンホセ県サンホセ市 ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 1 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先が実施する【障害者就労促進】プロジェクトは、2008年に障害のある学生の就労支援を目的に開始され、現在は障害者就労支援ネットワーク作りへと発展し各地域社会にも広がりつつある。プロジェクトの中心メンバーは大学職員3名で3名ともJICA地域別研修「障害者の雇用促進とディーセントワークの実現」に参加し、同研修を活かした障害者就労支援モデルの確立を目指し活動をしている。また、2007年から5年間実施された【ブルンカ地方における人間の安全保障を重視した地域住民参加型総合リハビリテーション強化】プロジェクトが行ったジョブコーチ研修にも参加した経験がある。大学予算約USD190,000。

要請概要

1）要請理由・背景

2011年の国勢調査によると、コスタリカの人口の約10%が何らかの障害をもっているといわれている。政府は現在、障害者就労促進プランを制定し、職業訓練強化、障害者雇用機会増大、就労斡旋システム強化、起業支援、関係セクターの連携強化等に取り組んでいる。配属先は、同プランの実践を進めていくにあたり、日本の地域就労支援をモデルとしたジョブコーチの技術を導入していくことが重要であると認識している。同プロジェクト関係者は、JICA本邦地域別研修を通じジョブコーチに必要とされる知識は学んだものの、経験は十分ではないため今回現場で指導ができるボランティアの要請がされた。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

①日本の障害者就労についての情報を大学職員に提供し共有する。
②ジョブコーチについての研修会を実施し、ジョブコーチ人材を育成する。
③障害者就労に関する理解啓発研修会を実施する。（対象者:障害者、家族、地方自治体担当者、養護教諭、企業など）
④地域社会(コミュニティ)において、障害者就労を促進するための関係機関によるネットワーク形成への働きかけを行う。
⑤企業、障害者プログラム実施機関である教育省、地方自治体等を訪問し、就労啓発・開拓を行う。
⑥障害者の一般雇用を促進するための資料作成を行う(マニュアル、パンフレット、経験の取り纏め等)

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所、PC、プリンター

4）配属先同僚及び活動対象者

大学教授2名(養護教育):女性50代、30代
プロジェクトスタッフ:女性30代
特殊教育学科学生

5）活動使用言語（ スペイン語 ）
6）生活使用言語（ スペイン語 ）
7）選考指定言語 スペイン語 （レベル: B ）
又は （レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ ）（ ）理由：
・ 就労支援経験 5年以上 理由：業務に必須

活動上の車車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可 春募集時のみ適用 ◉ 否 SVは通年対象外

地域概況

気候（温暖湿潤気候 ） 気温（ 15～28 ℃位） 電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
通信（ [ ] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線 ） 水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 4 日

要請番号(SL 469 - 14 - C - 10)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
モロッコ	(コード I102) 障害児・者支援	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 4 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 国民教育・職業訓練省

2)配属先名 (日本語) タンジェ・アシラフ支局 ○NGO

3)任地 タンジェ県タンジェ市
JICA事務所の所在地(ラバト)から 北東 方向 300 Km
主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 4 時間)

4)配属先の規模・事業内容
本支局はタンジェ県内の小学校・中学校を管轄している。普通学校内に、特別支援教室が設置されているが、教育省の教員が配置されている教室と、アソシエーション(両親会などのNGOで、教育省及び連帯・女性・家族・社会開発省との協定を結んでいる)が運営し無資格の指導員が指導している教室がある。教育省の教員であっても、特別支援教育の講習を受けた教員は少ない。

要請概要

1)要請理由・背景
タンジェ市内の小学校5校に計9つの特別支援クラスが設置され、教員約25名が配置されている。教育支局が直接管轄しているクラスの他、地域のアソシエーションが小学校内の教室を借りて特別支援クラスを運営している。教育支局が直接管轄する特別支援クラスの一つに特別支援教育専任の指導員がおり、ボランティアは同指導員と共に教育プログラムの改善を図り、指導法に関する他の指導員への助言、研修会の企画、運営に関する助言等を行う。また、アソシエーションが管轄する特別支援クラスも巡回し、指導員の能力向上を図ることが求められている。
2013年9月まで長期SVが巡回及び研修会の実施を行っているが、教員及び指導員への研修の必要性から継続して要請が出された。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
市内の小学校内の特別支援クラスにて、同僚指導員と共に以下の活動を行う
1.市内の特別支援クラスを巡回し、障害者(自閉症児、聴覚障害児含む)の指導や教育活動に関する教員及び指導員への助言を行う。
2.教員及び指導員対象研修会の企画・運営を支援する。
3.図工や音楽、運動の定着・質の向上を図る。
4.障害者の保護者等への啓発についての現状調査及び企画・運営を支援する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
教室、机、黒板

4)配属先同僚及び活動対象者
支局長
支局教育行政官
特別支援クラス教員及び指導員
特別支援クラス児童・生徒

5)活動使用言語 (フランス語)
6)生活使用言語 (アラビア語)
7)選考指定言語
英語 (レベル: D)
又は
フランス語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
- 免許 (特別支援学校教諭または養護学校教諭)
  又は (小学校教諭)
- 性別 ( ) 理由：
- 学歴 ( ) ( ) 理由：
- 経験 (実務経験) (5年以上) 理由：指導員・教員への助言を行うため
- 理由：

活動上の車車／自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 春募集時のみ適用
◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(地中海性気候) 気温(5～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☐インターネット可 ☐電話可 ☐無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 31 日

要請番号（ SL 545 - 14 - C - 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ウガンダ	（コード I102 ）障害児・者支援	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　ジェンダー・労働・社会開発省

2)配属先名（日本語）　ウガンダ障害児協会　◉ NGO

3)任地 カンパラ

JICA事務所の所在地（ カンパラ ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ カンパラ ）までの交通手段及び所要時間（ 車 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1985年、障害のある子供たちの生活向上を目的に設立された現地NGO。ドナーからの寄付金により首都を含む国内14県で事業を展開している。①障害についての社会啓発活動 ②障害児の保護者の人材育成 ③障害児を守るための法律や政策に関わる政府へのロビー活動の三つを柱に、子供たちに必要な医療やリハビリの提供や職業訓練などを行い、これまでに累計およそ25万人の障害児とその保護者が裨益した。年間予算はおよそ2200万円。短期のボランティアを主に欧米から受け入れている。

要請概要

1)要請理由・背景

同NGOはドナーからの寄付金を活動資金としているため、スタッフにかける資金が不足しており、専門性の高いスタッフやプログラムの支援要員を雇用することが困難となっている。慢性的な人手不足は、子供たちの持つ障害の実態を正確に把握したり、支援実施後の状況をフォローしたりする活動を妨げ、ひいては資金源であるドナーへの報告が十分に行えないという状況を生み出している。現在、専門性を持った短期SVが同NGOに対して協力活動を展開しており、その継続を要請された。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

同NGOに勤務するプログラムオフィサーや現地ボランティアと協力して、以下の活動を行う。
・障害児やその保護者にかかる実態調査と、それに基づく既存データベースの更新
・在宅支援プログラムの立案、実施
・障害児の保護者が集う「親の会」の運営・実施支援

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机

4)配属先同僚及び活動対象者

（配属先同僚）
NGO代表:大卒女性40歳代
プログラムオフィサー:大卒男性30歳代
（活動対象者）
障害児とその保護者、地域サポートグループリーダーなど

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ 英語 ）

7)選考指定言語　英語（レベル: B ）又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ ）又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：専門性が求められるため
・経験（ 指導経験 ）（ 10年以上 ）理由：経験に基づいた知識要
・ 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（常初夏気候 ）気温（ 15～30 ℃位）　電気（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

通信（ [ ] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線 ）　水道（○ 安定 ◉ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号（ SL 312 - 14 - C - 12 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
チリ	（コード I103 ） 福祉用具	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1）受入省庁名（日本語）　保健省

2）配属先名（日本語）　ペドロ・アギレ・セルダ国立身体障害者リハビリテーション病院　○ NGO

3）任地　サンティアゴ

JICA事務所の所在地（ サンティアゴ ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ サンティアゴ ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4）配属先の規模・事業内容

配属先はチリ国唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25才迄の身体障害者、さらに切断や脳血管障害による成人身体障害者に対し身体・精神・社会的な視点から統合的リハビリ治療を行う他に、大学教育、人材育成、研究活動も実施。職員149名。病床数39であるが、入院、診察、地域リハビリにより年間5000名を診察。リハビリチームはリハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、特殊学校から成る。JICAは、身体障害者リハビリテーションプロジェクト、第三国研修等の南南協力、ボランティア(言語聴覚士、歯科衛生士等)派遣実績あり。

要請概要

1）要請理由・背景

配属先の義肢装具製作室は、リハビリチームの作業のサポートユニットとして位置づけられており、子供、青年、大人、高齢者向けの義肢装具を製作している。公立病院においては国内唯一の義肢装具製作室であり、スタッフはリハビリ医1名、技師2名、助手3名、秘書1名の計6名から成る。同製作室では、運動療法士チームから患者の評価・リハビリの経過についての情報を受けながら製作作業を行っている。配属先では、昨年から義肢装具製作室の設備改善及びスタッフの技術レベル向上を図っており、国際義肢装具協会(ISPO)の研修に同製作室から2名が受講している。特に、義肢・装具製作のための評価・処方、下肢装具・コルセット・義肢製作、製作した義肢・装具のアフターケアにおける改善を目指しており、これらの活動支援を行えるボランティアが求められている。

2）予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1. 義肢・装具製作のための評価・処方における義肢装具製作室スタッフへの指導
2. 義肢・装具製作における義肢装具製作室スタッフへの指導
3. 製作した義肢・装具のアフターケアにおける義肢装具製作室スタッフへの指導
4. 義肢・装具製作室及びリハビリチームへの指導

3）ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

診察室・試着室(2部屋)、評価・型取りの為の部屋、下肢装具・コルセット・義肢等製作用機器

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚
- 40代半ば女性(リハ医)
- 義肢・装具製作室長
- 集団研修「義肢・装具」帰国研修員(1990年代初め)

5）活動使用言語（ スペイン語 ）

6）生活使用言語（ スペイン語 ）

7）選考指定言語　スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：業務遂行上必要
- 義肢装具士　理由：業務遂行上必要

活動上の車車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SV は通年対象外）

地域概況

気候（地中海性気候 ）気温（ 乾季9～4月、雨季5～8月、0～30 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（ □ インターネット可　□ 電話可　□ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 3 日

要請番号(SL 303 - 14 - C - 03)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
アルゼンチン	(コード 1104) 高齢者介護	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代日	○2年 ◉1年 ○ ヶ月	26 / 4 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 教育省

2)配属先名 (日本語) ラスパンティ教員専門学校 ○NGO

3)任地 ブエノスアイレス州モロン郡アエド市

JICA事務所の所在地(ブエノスアイレス市)から 南西 方向 50 Km

主要都市(ブエノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 1.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容

同配属先は、1972年に障害児の教育に関し、専門性を高める人材を養成することを目的にラスパンティ司教によりカトリック教会の支援を得て創設された教育機関。現在は、乳幼児、障害者、高齢者を対象にした社会福祉の専門学校(4年間)として約450名の生徒と約90名の教師を擁し、1日4時間、週に5日の授業を実施している。また、同じ施設を利用して障害児のための特別支援学校を運営しており、現在、約100名の児童が通っている。ユネスコ等から運営資金の支援も得ており、過去に、教員専門学校においてシニア海外ボランティア1名(高齢者介護)の活動実績あり。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先は、社会福祉関係の業務に携わる関係者の専門性をより向上させるために設立された専門学校である。現在は、市役所の所有する「退職者センター」や退職者や年金受給者を対象にした社会サービス機構(PAMI - Instituto Nacional de Servicios Sociales para Jubilados y Pensionados)との連携を図り、地域の高齢者福祉に関する事業を展開している。
しかしながら、高齢者福祉においては、特に介護予防や高齢者介助に関する専門性を有した人材が不足していることから、これらの分野ついて、より知識、経験を有する人材から指導を得ることにより、同配属先の教師の専門性を向上させる他、地域における高齢者福祉のリーダーの育成のために本要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

①配属先関係者(教員、学生)を対象に、高齢者に対する介護予防体操や高齢者への介助の方法等について実践指導を行う。
②同地域にある社会サービス機構関係者と連携し、地域住民(高齢者及びその家族)に対して介護予防等に関する実践指導を行う。
③上記指導を通じて、地域における高齢者福祉のリーダーを育成する。
④日本の行政や民間が実施している高齢者福祉の実情等について紹介する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター等の事務機器の他、WiFi利用可能。学内には、講堂も設備されているため、講演等も開催可能

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先代表者:女性(50代・日系2世)、心理学学士 (勤務年数:24年)
(2014年より特別支援学校校長を兼任予定)
同僚:男性(50代)、勤務年数 37年
男性(40代・日系2世)、勤務年数 5年
女性(20代)、勤務年数 6年

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 ( ) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 (大卒) ( ) 理由:業務遂行上必要不可欠
- 経験 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要不可欠
- 理由:

活動上の単車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(温暖湿潤気候) 気温(5~35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☑インターネット可 ☑電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

長期派遣としては新規派遣であるが、以前SV短期隊員が9か月間活動していた。今回の要請では、その活動の継続と新しい手法の導入に期待が寄せられている。

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期　（ 長期 SV ）

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号（ SL 327 - 14 - C - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ペルー	（コード J101 ） 渉外促進	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 2 代目	○ 2 年 ◉ 1 年 ○ ヶ月	26 / 4 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 保健省

2)配属先名（日本語） 日ペルー友好・国立障害者リハビリテーションセンター　○ NGO

3)任地 リマ市チョリーヨス区

JICA事務所の所在地（ リマ市サン・イシドロ区 ）から 南西 方向 10 Km

主要都市（ リマ市サン・イシドロ区 ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 0.5 時間）

4)配属先の規模・事業内容

障害者リハビリテーション医療の国内最高位の機関。日本の無償資金協力により移築され、2013年1月本格稼働開始。職員数520名、うち医師71名(リハビリテーション医14名)、セラピスト(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)109名、看護師70名。運動障害(脊髄損傷、脳血管疾患)、認知障害(知的障害、高次脳機能障害)、言語聴覚障害、脳性麻痺児等への外来リハ診療が中心。1日の外来患者数は約550人。ソーシャルワーカーや心理療法士とのチームリハも行っている。入院施設は脊髄損傷患者のみ対象で36床。年間予算は約2000万米ドル。2013年3月からSV派遣を開始し、現在4名(うち理学療法士2名)が活動中。

要請概要

1)要請理由・背景

2014年1月時点で運動療法専門の理学療法士SV(任期2015年3月まで、今次後任要請中)、歩行/動作分析専門の理学療法士SV(任期2015年6月まで)、カルテの電子化に取り組むコンピュータ技術SV(任期2015年9月まで)及び前任にあたる渉外促進SV(2015年3月まで)が活動中。それぞれ異なる専門分野で各CPとともに活動している。今後も複数SVによる協力を継続する予定であることから、各SVが円滑に活動推進できるよう主に配属先との活動調整や通訳等、コーディネーター的役割を担う立場として渉外促進SVの継続要請がなされた。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同センター国際科学技術協力部に所属し、以下の活動を行う。
①各SVの円滑な活動推進のための各部署における業務調整支援
②状況に応じた各SVと関係部署間の通訳、相互理解支援
③配属先全体及び各部署の動向把握及び得た情報の各SVとの共有、提供

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、PC(インターネット付)

4)配属先同僚及び活動対象者

同僚:
センター長:60代男性
国際科学技術協力部JICAボランティア総括担当(リハビリテーション医、40代女性)

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語
スペイン語 (レベル: B)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許（ ）
  又は（ ）
- 性別（ ）理由：
- 学歴（ ）（ ）理由：
- 経験（ ）（ ）理由：
- 理由：

活動上の車車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SV は通年対象外）

地域概況

気候(砂漠気候) 気温(10～25 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 4 日

要請番号（ SL 445 - 14 - C - 04 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
トルコ	（コード J101 ） 渉外促進	◉ グループ型 ○ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　食糧農業畜産省

2)配属先名（日本語）　ギレスン県食糧農業畜産局　○ NGO

3)任地 ギレスン

JICA事務所の所在地（ アンカラ ）から 北東 方向 610 Km

主要都市（ トラブゾン ）までの交通手段及び所要時間（ 車 で約 2 時間）

4)配属先の規模・事業内容

食糧農業畜産省はトルコにおける農業・農村開発の所管省庁であるが、各県における技術者を通じた農民への実質的な支援業務は、同省傘下の各県食糧農業畜産局が担う(ただし技術的内容は本省本局より直接指導)。ギレスン県は県農業局と15の郡事務所の技術者で実務を行っており、約86名の技術者を擁する。

要請概要

1)要請理由・背景

トルコ東部黒海地域は、茶やナッツ等を初めとした農業中心の低所得地域で、就業人口の6割が農業従事者である。同地域のモノカルチャーによる経済構造の脆弱性を改善し、地域格差を是正するため、JICAはトラブゾンを中心にギレスン県を含む同地域6県で「東部黒海地域営農改善計画(DOKAP-TARIM)」プロジェクトを実施、営農改善、生活改善に取組んできた。同プロジェクトは2010年3月に終了、活動はトルコ側に引き継がれた。その後、ボランティアの派遣が要請され、これまでに「野菜栽培」(長期)、「農業協同組合」と「農作物加工」(短期)が派遣されている。今回トラブゾン県からギレスン県に活動を展開するにあたり「野菜栽培」「農作物加工」「マーケティング」が新規要請されている。首都から遠隔地であり、語学面での支援も含めて調整担当者が必要と本件の要請がなされた。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同時期に派遣予定の他のSV(「野菜栽培」「農作物加工」「マーケティング」)の円滑な業務実施を確保するために、英語と共にトルコ語を用いて以下の活動を実施する。
・トルコ側プロジェクト機関とSV間の連絡調整。
・上記シニアボランティア間の業務調整。
・上記シニアボランティアとJICAトルコ事務所との連絡調整。
・可能な範囲での上記シニアボランティアの活動におけるトルコ語の通訳・翻訳支援。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

ギレスン県食糧農業畜産局執務室

4)配属先同僚及び活動対象者

DOKAP-TARIMプロジェクト・コーディネータが県農業局に配属されている。いずれも農業技術者で、それぞれ普及、組合活動、女性支援活動、営農改善、マーケティング、を担当。全員男性。農協組合長を含む本邦研修経験者3名有り。

5)活動使用言語（ 英語 ）

6)生活使用言語（ トルコ語 ）

7)選考指定言語　英語（レベル: C ）　又は（レベル: ）

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ ）
　又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚が大卒以上のため
・経験（ 社会経験 ）（ 5年以上 ）理由：協働的業務を円滑に進めるため
・ 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（地中海性気候 ）気温（ -10～23 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（[ ] インターネット可　[ ] 電話可　[ ] 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

トルコ語も必要となることから、トルコ事務所が手配する現地語学訓練(約2か月)の受講が必要。本案件においてはトルコ語能力が有用であることから、トルコ語既習歴がある方は語学力申告台紙に記入してください。

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号

JICA　長期（ 長期 SV ）

記入日：平成 26 年 1 月 6 日

要請番号（ SL 027 - 14 - C - 06 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 4	年 月 から
ベトナム	（コード G157 ）日本語教育				/	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 教育訓練省

2)配属先名（日本語） フエ大学外国語大学　○NGO

3)任地 トゥアティエンフエ省フエ市

JICA事務所の所在地（ ハノイ市 ）から 南 方向 680 Km

主要都市（ ダナン市 ）までの交通手段及び所要時間（ 車 で約 3 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同外国語大学の職員数は約270名、学生数は約3500名。英語、フランス語、ロシア語、中国語、韓国語等9つの学科から成り、ボランティアは、日本語日本文化学科に所属する。学科の設立は2006年、日本語の正規授業は月～金に行われており、学年によって午前・午後に分かれている。英語学科および中国語学科の第二外国語としての日本語教育、夜間大学での日本語教育も実施している。2007年短期SV派遣に始まり、計6名(長期SV1名、短期SV3名、長期JV2名)を派遣しており、25秋募集でJVを要請中である。国際交流基金や民間企業から図書寄贈などの支援を受けた実績がある。

要請概要

1)要請理由・背景

同市は有名な観光地であるが、日本語を専門に勉強できる機関は同大学しかなく、日本語学科の学生数が増加傾向にある。配属先は学科の充実とレベル向上のため、学生の増加に合わせた教師の新規採用や、教師の修士・博士号取得のための留学取組を2015年まで実施している。現在6名の経験豊富な人材が留学中であるが、更に数名が2015年までに留学予定であり、日本語能力がN2レベルの経験の浅い教師が中上級クラスを担当する必要性が生じている。また、過去にカリキュラムの改定、若手教師の育成、日本語指導、教材作成など、日本語教育の基盤整備に協力をしてきているが、上記の理由から今後更に教員能力の向上に力を入れていく必要がある。卒業時にN2レベルの取得が必須となったことからも、教師が中上級クラスを自信をもって担当できるよう、日本語及び教授能力向上を支援するために本件要請に至った。経験豊富なSVが求められている。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

主に中・上級(N3～N2程度)レベルを担当する教師の教授能力向上を支援する。具体的には以下が想定される。
・聴解、会話、文化論などの教材・カリキュラムの作成や改善
・中上級レベルの会話、作文、受験対策、卒論執筆指導など、必要に応じ学生を直接指導
・中上級担当教師の教案確認、授業観察、試験問題のチェックとフィードバック等
・定期勉強会の開催による日本語能力向上支援(N1指導含む)
・日本語スピーチコンテストに向けた学生の指導、日本語祭り、日本語能力試験対策、留学支援など、必要に応じた学科運営への支援

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

主教材「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」「中級から学ぶ日本語」「上級で学ぶ日本語」「ニューアプローチ中上級完成編」のほか、日本語書籍・資料は豊富。プリンター、コピー機、プロジェクター等の一般事務機器。

4)配属先同僚及び活動対象者

学科長(女性/40代/博士留学中、2014年3月に復職予定)
副学科長2名(女性/30代/学士、修士)
現地教師16名(女性15名・男性1名/20～40代/うち6名日本留学中)
教授経験は学科長・副学科長を含め3～10年程度
日本語学習者は450名(一学年約150名、一クラス約40～45名)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ ベトナム語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: D)
又は
(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ ）
又は（ 日本語教授法 ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：大学での指導となるため
・経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：経験ある教師の育成のため
・ 中上級レベルの指導経験 理由：中上級の教授能力向上を図るため

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可（春募集時のみ適用） ◉否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（熱帯モンスーン気候 ）気温（ 20～35 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（ ☐インターネット可 ☐電話可 ☐無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

住居は大学に隣接する留学生・外国人教師用の寮を予定している。

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号(SL 066 - 14 - C - 06)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
スリランカ	(コード G157) 日本語教育	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 教育省

2)配属先名(日本語) 国立教育研究所 ○NGO

3)任地 コロンボ県マハラガマ

JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南東 方向 15 Km

主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4)配属先の規模・事業内容

配属先は日本の援助を受けて1986年に設立され、初等・中等教育と教員養成大学のシラバス作成、現役教師の研修を実施している。2011年の予算は3億円。全職員数は450名、ボランティアが所属する外国語局の職員は3名である。下記日本語ディプロマコースにおいては2012年10月から2月JICA短期JVが4ヶ月間講師を務め、それに続き国際交流基金専門家が講師を勤めている。他国からの支援としては2012年より韓国人専門家5名が韓国語コースで講師を務めている。

要請概要

1)要請理由・背景

スリランカでは日本語が公立中学・高校において選択科目として教えられている。公立校で日本語教育にあたる教師の中では日本語能力試験2級合格者が徐々に増えつつあるものの、統一的な資格要件がないため、日本での滞在経験がある、あるいは高校卒業資格試験の選択科目で日本語に合格したのみという日本語能力試験3級程度の者が依然として主流である。また教授法の訓練受講者も極めて限定的である。かかる背景を踏まえ、配属先はJICAボランティアと現地人講師を講師として、現役教師の教授法向上のための研修を2012年10月より開始した。受講生は熱心に研修を受講しており、研修は配属先および受講生から高く評価されている。なお研修シラバスは同国のケラニア大学で活動する国際交流基金専門家が作成済みであり、必要に応じて同専門家と情報共有を行いながら活動を進めることが可能である。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同僚講師とともに以下の業務を実施する。
①研修コースにて講義を行う。(25人の中学・高校現役教員を対象とし、1年間(50週)毎週土曜の一日6時間実施。教材は日本語教授法シリーズ(国際交流基金)とスリランカの高校の教科書、指導書等を使用)
②受講生が勤務する学校を訪問し、授業に対して評価・助言する。
③受講生が行う日本語教育向上のための調査に対して助言する。
④スリランカ全土の日本語教師が組織する日本語教師会の活動を支援する。(月1回程度)
※配属先には日本語に関する専門書が65冊あり、利用が可能である。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

LL教室・コンピュータ30台・プロジェクター・プリンター・コピー機、日本語に関する専門書。使用教科書は国際交流基金の日本語普及活動助成により購入し、受講生に貸し出している。

4)配属先同僚及び活動対象者

・同僚:教育研究所職員(女性、30代)
・講師(女性、30代)
・指導対象者:現役教師30名(教師経験3年以上、日本語能力試験N4あるいはN3合格以上)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (シンハラ語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許(日本語教授法) 又は( )
・性別( )理由:
・学歴(大卒)( )理由:同僚の教育水準と合わせる。
・経験(実務経験)(5年以上)理由:経験に基づいた指導が必要。
・ 理由:

活動上の単車/自転車の必要性
○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度
○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯気候) 気温(24~34 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(□インターネット可 □電話可 □無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

住居:国立教育研究所には外国人用宿舎があり、そこに入居が可能。

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号(SL 115 - 14 - C - 05)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
ミクロネシア	(コード G157) 日本語教育	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代日	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 / 26 / 4 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) チューク州政府

2)配属先名 (日本語) ザビエル高校 ○ NGO

3)任地 チューク州ウエノ島サプック

JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 西 方向 730 Km

主要都市(モエン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4)配属先の規模・事業内容

イエズス会が運営するカトリック系私立高校(4年制)。1952年設立。全校生徒は180名程度と小規模であるが、ミクロネシア地域全体(マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国)で屈指の進学校であり、大統領をはじめとする多くの政治家や指導者を輩出している。年間予算は613千米ドル。教師は、国際的なイエズス会組織から派遣される各国からのボランティア教師によって構成されている。2011年まで過去5代にわたり、JICAから日本語教育隊員等が派遣された。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先は、「有能で自覚と思いやりのあるリーダーの育成」を教育方針として、次世代の指導者を育成している。そして、生徒が、高校時代に日本語や日本文化を学んでおくことが、将来、指導者となった時に日本との友好関係を築いていくための強みになると考えている。また、日本語教育は、生徒の世界観を広げ、米国など海外の大学進学の一助となることから、ボランティア派遣を強く希望している。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同校では2011年以来、日本語教育が行われていないため、日本語教育再開の基礎作りから協力が求められている。
1.カリキュラムやシラバスの作成、必要に応じて教材の作成等を行う。
2.3・4年生を対象とした初級レベルの日本語授業の実施。
(各学年2クラス、1クラスの生徒数は20～25名程度。配属先は、3年生は必須科目・4年生は選択科目と計画されているが、詳細については、配属先とボランティアで協議の上、決定したい。)
3.授業や文化祭等の行事を通じた日本文化の紹介。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

プロジェクター

4)配属先同僚及び活動対象者

理事長、校長、教員13名、従業員18名
年齢18～50歳

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (英語)
7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (日本語教授法) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 (短大卒) ( ) 理由:実践的知識が必要
- 経験 (実務経験) (3年以上) 理由:実践的知識と技術が必要
- 中等教育段階での日本語教師経験 理由:実践的知識と技術が必要

活動上の単車/自転車の必要性: ○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度: ○ 可 春募集時のみ適用 / ◉ 否 SVは通年対象外

地域概況

気候(熱帯雨林気候) 気温(25～35 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)
通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。舗装されている道路が少なく、悪路である。中等教育段階での日本語教師経験があると望ましい。

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 5 日

要請番号（ SL 124 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
パプアニューギニア	（コード G157 ） 日本語教育	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 6 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 / /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　高等教育省

2)配属先名（日本語）　ゴロカ大学 人文学部　○ NGO

3)任地 ゴロカ

JICA事務所の所在地（ ポートモレスビー ）から 北西 方向 430 Km

主要都市（ ゴロカ ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

ゴロカ大学は、教育学部、人文学部、自然科学学部からなる総合教育大学である。学生数は約1700人、大学の年間予算は約5億円で、同国で3番目の規模を持つ。日本語クラスは人文学部の言語文学科に属している。2014年1月現在、日本語教師SVが活動中である。

要請概要

1)要請理由・背景

同大学へは、2002年から日本語教育のSVが派遣され、現在までJICAボランティアによりクラス運営がなされている。言語文学科にはその他に英語、フランス語、及びアレカノ語(ゴロカ地域の言語)のクラスがある。語学を習得することに加え、外国語やその国の文化を学ぶことで、自らの部族の言語や文化の尊さを再認識し、保全していくことも目的としている。パプアニューギニア(PNG)と日本の経済交流は年々盛んになっており、PNGと日本の橋渡し役としてビジネス界で活躍する人材の育成が期待されている。日本語の指導には継続性が必要であるが、PNG人で日本語教師を担う人材が不在なため、引き続きJICAボランティアの要請に至った。当国は2月から新学年が開始され、活動中のSVは2015年1月初旬に任期終了予定であるため、3次隊による後任赴任が必要となる。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

学科長と協議しながら、日本語クラスを運営する。
①講師として日本語クラスで2年生から4年生に指導する(日本語1から4を指導する初級レベルが中心)。
②日本文化や作法の紹介イベントを企画/実行する。
③年間のカリキュラム編成、新年度の受講者募集イベントなどを実施する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プリンター、スキャナー、プロジェクター、日本語教材(みんなの日本語、げんき)、将棋道具、書道道具。

1)配属先同僚及び活動対象者

学科長(女性、50歳代)
他言語の教員(20歳～50歳代、PNG人、オーストラリア人、アメリカ人、ドイツ人など)
日本語履修者(約20名、初級レベル)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語　英語 (レベル: B)　又は　(レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 日本語教授法 ）又は（ ）
- 性別（ 男性 ）理由：治安上の理由
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚の教育水準と同等
- 経験（ ）（ ）理由：
- 普通自動車運転免許　理由：治安上の理由

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車　○ 自転車　◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（熱帯雨林気候 ）気温（ 15～25 ℃位）　電気（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

通信（☑ インターネット可　☐ 電話可　☐ 無線 ）　水道（◉ 安定　○ 不安定　○ なし）

特記事項

治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 5 日

要請番号（ SL 124 - 14 - C - 02 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
パプアニューギニア	（コード G157 ） 日本語教育	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 5 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語） 高等教育省

2)配属先名（日本語） パプアニューギニア大学 人文社会学部　○NGO

3)任地 ポートモレスビー

JICA事務所の所在地（ ポートモレスビー ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ ポートモレスビー ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

同国最大の国立総合大学で、人文社会学部をはじめ経営、法、自然物理、医学保健の計5学部からなる。学生数約4000人、教職員数約200人。配属先年間予算約13億円。オーストラリアを中心として各国から施設整備や講師派遣など多くの援助が入っている。言語学科には、日本語、フランス語、インドネシア語の外国語講座がある。2014年1月現在、日本語教師SVが活動中である。

要請概要

1)要請理由・背景

同大学へは、1998年から日本語教師のJV、SVが派遣されており、現在もSVが活動中(2015年3月まで)である。パプアニューギニア(PNG)では、観光やビジネスにおいて今後さらに日本との関係強化が期待されており、日本との橋渡し役となる優秀な人材の育成が必要となっている。卒業生を日本語教師の講師として大学にて雇用することを提案しているが、予算や生徒の技術レベルの問題で実現していない。そのため、引き続きJICAボランティアによる日本語講座の運営が必要であり、後任の要請に至った。当国は2月から新学年が開始されるため、3次隊による後任赴任を希望している。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

学科長と協議しながら日本語講座を運営する。
①講師として日本語1から日本語4までの授業を実施する。各クラスは、週4コマの授業。
②学生や教職員を対象に、日本文化の紹介を行う。
③年間カリキュラムの編成や教材の整備を行う。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、プロジェクター、CDラジカセ、日本語教材(げんき、みんなの日本語など)。

4)配属先同僚及び活動対象者

学科長(男性 40歳代)
日本語履修者(約20人、初級レベル)

5)活動使用言語（ 英語 ）
6)生活使用言語（ 英語 ）
7)選考指定言語
英語 (レベル: B)
又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

- 免許（ 日本語教授法 ）
  又は（ ）
- 性別（ 男性 ）理由：治安上の理由
- 学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚の教育水準と同等
- 経験（ ）（ ）理由：
- 普通自動車運転免許　理由：治安上の理由

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可（春募集時のみ適用）◉否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（サバナ気候 ）気温（ 25～35 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 1 日

要請番号（ SL 215 - 14 - C - 01 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
コスタリカ	（コード G157 ） 日本語教育	○ グループ型 ◉ 個別	○ 新規 ◉ 交替 3 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　経済企画省

2)配属先名（日本語）　ナショナル大学文学哲学部文学言語学科　○ NGO

3)任地 エレディア県エレディア市

JICA事務所の所在地（ サンホセ県サンホセ市 ）から 北 方向 12 Km

主要都市（ サンホセ県サンホセ市 ）までの交通手段及び所要時間（ バス で約 1 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1973年創立の国立大学。8つの学部があり、本キャンパスとは別に国内6か所にキャンパスがある。総学生数は約16,000名で本キャンパスには約13,000名の学生が在籍する。配属先の文学言語学科では、外国語講座として英語・仏語・中国語・韓国語・独語・イタリア語・日本語を開講しており、日本語は第2外国語という位置付けである。現在JV1名(任期2014年9月)とSV1名(任期2015年3月)の日本語教師が活動中。2013年度大学予算は約190,000米ドル。

要請概要

1)要請理由・背景

配属先は日本語クラスを通じて、学生達へ日本文化や伝統、習慣に触れる機会の提供を望んでおり、学生達の異文化理解や見聞を広げることを目的としている。現在JV1名とSV1名で日本語1～5のクラスを受け持っている。日本語を選択希望する学生数の増員、クラス増設に伴い、これまではJV1名のみの派遣であったが、2011年4月よりSVが増員され、現在は2名で日本語教育の指導にあたっている。配属先は、現在のクラス運営の継続、来年開講予定の日本語6や現地人日本語教師育成に引き続き2名体制で日本語教育指導にあたることを希望していることから本件要請となった。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

①学生向け日本語クラスの授業(日本語1:2クラス、日本語2～5:1クラス)の実施
（日本語6は2014年後期から開講予定準備中）
②現地人日本語教師育成
③日本語教材の整備と改訂
④大使館主催の弁論大会、中米カリブ地域の日本語教育セミナー関連業務
⑤日本文化紹介の実施

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

LL教室、ラジカセ、ビデオ、コンピューター、事務用品

4)配属先同僚及び活動対象者

・学科長(男性/30代)
・同僚(男性/40代)専門:英語(日本語は少しできるレベル)
・アシスタント1名(男性/20代)
・同僚日本語教師JV1名

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ 日本語教授法 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：同僚と同等の学歴程度
・経験（ 実務経験 ）（ 2年以上 ）理由：実践的な内容の指導に必要
・ 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度：○ 可（春募集時のみ適用）　◉ 否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（温暖湿潤気候 ）気温（ 15～28 ℃位）　電気（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）
通信（[-] インターネット可 [ ] 電話可 [ ] 無線 ）　水道（◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし）

特記事項

平成 26 年度　春　募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄　受験番号

JICA　長期　（ 長期 SV ）

記入日：平成 26 年 2 月 3 日

要請番号（ SL 227 - 14 - C - 05 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
エルサルバドル	（コード G157 ）日本語教育	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 2 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　教育省

2)配属先名（日本語）　エルサルバドル国立大学人文科学部言語学科　○NGO

3)任地　サンサルバドル県サンサルバドル市

JICA事務所の所在地（ サンサルバドル市 ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ サンサルバドル市 ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

エルサルバドル国立大学は当国唯一の国立総合大学であり、学生数約5万4千名。人文科学部には言語、哲学、教育などの学科があり、学生数は約8千名、うち言語学科には約1,500名が在籍、教職員約50名で運営されている。英語、仏語、独語、日本語、中国語、韓国語の講座が実施されており、単位となる講座を実施しているのは英語、仏語、日本語である。配属先へのJICAボランティア派遣は、日本語教師を中心に約20名が派遣されており、現在14代目の日本語教師(SV)が活動中である。またLL教室が日本政府無償資金協力で設置された。http://idiomas.ues.edu.sv

要請概要

1)要請理由・背景

配属先では学科生対象の単位講座2クラス、一般公開講座5クラス(導入1、初級3、中級1)、計7クラスに約150名が学び、日本語学習機関としては当国最大規模である。日本文化祭、スピーチコンテストなどのイベントが実施されてきており、現在では中米大学(日本語教師隊員派遣中)と共同で開催されている。JICAボランティア派遣により、日本や日本文化に対する関心が高まり、現地人講師の育成も進んでおり、ようやく昨年から1名が常勤採用された。配属先では従来のクラス運営に関する協力はもとより、現地人講師の育成を更に進めたいとして、より経験豊富なSVを要請することとなり、前任者(2014年6月まで)が派遣された。現在では常勤講師の他、5名の無給講師、アシスタントがSVと共に運営、指導を行っており、彼らへの指導法のみならずコースデザインをはじめとする運営についての能力向上への協力が望まれている。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

1.エルサルバドル人講師の指導と育成を支援する。
2.学科生対象の単位講座クラス及び一般公開講座の年間指導計画改善、各クラス実施(試験作成・実施、評価、教材作成・研究など)及び新規クラス開講に協力する。
3.日本文化祭、スピーチコンテストの企画運営に協力する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

言語学科教員室内執務スペース、ラップトップPC,プロジェクタービデオカメラ、CDラジカセ、各種日本語教育教材

4)配属先同僚及び活動対象者

・学科長:男性、英語専攻
・アジア言語コーディネーター:男性、仏語講師
・日本語講座常勤講師:男性、30歳代、日本語初級、中級の指導が可能
・日本語講座無給講師、アシスタント4名:男性1名、女性3名、20～30歳代

5)活動使用言語（ スペイン語 ）

6)生活使用言語（ スペイン語 ）

7)選考指定言語
英語 (レベル: D)
又は
スペイン語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ ）
又は（ 日本語教授法 ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ 大卒 ）（ ）理由：指導対象が大学生のため
・経験（ 指導経験 ）（ 5年以上 ）理由：講師への指導が必要なため
・ 理由：

活動上の単車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可（春募集時のみ適用）◉否（SVは通年対象外）

地域概況

気候（熱帯気候 ）気温（ 15～35 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 4 日

要請番号(SL 312 - 14 - C - 01)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
チリ	(コード G157) 日本語教育	○ グループ型 ◉ 個別	◉ 新規 ○ 交替 代目	◉ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 国際協力庁

2)配属先名 (日本語) コンセプシオン大学 ○ NGO

3)任地 コンセプシオン市

JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 南 方向 500 Km

主要都市(コンセプシオン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

1919年創立。18学部91学科・専門課程、58の修士課程、27の博士課程を擁する、全国ランキング第3位でチリ南部最大の大学である。学生数約2万5千人。教員・職員数約4,200人。コンセプシオンの他2都市にもキャンパスがある。配属先は人文芸術学部外国語学科であり、同学部には他に歴史学科、人文科学学科、芸術学科がある。外国語学科では現在英語・ドイツ語・フランス語の専門課程を有しており、通訳・翻訳者の育成を主眼に教育・研究を行っている。

要請概要

1)要請理由・背景

当国においても他国同様、アニメや漫画に代表される現代日本文化への関心は特に若者を中心に高いものがあり日本語学習熱も高い。同大学では過去に同学科内で基礎1と基礎2の2つの日本語講座を開設していたことがあり、約30名の学生を集め好評を得た上、他学科外の学生からも聴講希望が相次いだ。現在は日本語講師の手当てができておらず日本語コースは開講されていないため、日本語コース開講のための支援を求めて今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同大学人文芸術学部外国語学科に籍を置き、
1)学科内の補助的な講座としての日本語講座(週3時間×半年又は1年)開講に主体的に関与する。
2)大学内の日本文化紹介イベント開催に主体的に関与する(半年に1回程度)。
3)一般向けの日本語公開講座の開催の可能性について検討する。
等の活動を通して、同学科のみならず広く学内・学外における日本語・日本文化への関心・理解度向上に寄与する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的な事務用品・調度品、インターネット接続環境。日本語教育教材は現時点では揃っていない。

4)配属先同僚及び活動対象者

C/P:言語学科助教授、30代女性
職場同僚:言語学科の約50名の教員・職員
活動対象:主として言語学科学生となるが、公開講座等開催時は広く同大学学生や一般市民となる。

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (日本語教授法) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (実務経験) (5年以上) 理由:活動遂行上必要
- 理由:

活動上の単車／自転車の必要性: ○ 単車 ○ 自転車 ◉ 不要

現職教員特別参加制度: ○ 可 春募集時のみ適用 / ◉ 否 SVは通年対象外

地域概況

気候(地中海性気候) 気温(0~30 ℃位) 電気(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)
通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) 水道(◉ 安定 ○ 不安定 ○ なし)

特記事項

平成 26年度　春　募集ボランティア要望調査票

JICA　長期　（ 長期 SV ）

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号（ SL 312 - 14 - C - 06 ）			区分（長期のみ）	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
チリ	（コード G157 ） 日本語教育	○グループ型 ◉個別	◉新規 ○交替 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名（日本語）　国際協力庁

2)配属先名（日本語）　サンティアゴ大学　○NGO

3)任地 サンティアゴ

JICA事務所の所在地（ サンティアゴ ）から 北 方向 0 Km

主要都市（ サンティアゴ ）までの交通手段及び所要時間（ 徒歩 で約 0 時間）

4)配属先の規模・事業内容

1849年創立。7学部63学科を擁する学生数約1万8千人の総合大学である。チリ国内高等教育機関として唯一、正式専攻過程として日本語教育が行われている。日本語講座は1993年に開始され、現在は人文学部言語文学学科翻訳課程に5年制の英語・日本語専攻としての日本語講座が開設されている。これまでに約300名の卒業生を送り出しており、専攻の在籍数は約40名である。2009年からの新カリキュラムでは卒業時に日本語能力試験N2合格レベルを卒業条件にしている。過去1997-99年に日本語教育JVが派遣された。2002～2009年にかけて国際交流基金から計3名講師派遣があった。

要請概要

1)要請理由・背景

同大学英語・日本語専攻には現在合計5名の日本語教師がおり、うち3名は日本人である。
他方同専攻では2013年版シラバスより日本語関連の授業クラスを744時間から936時間に増加させており、更なる内容の充実や効率的な指導方法の確立が求められており、高等教育機関で第2外国語としての日本語教育経験が豊富なボランティアの指導を得るため本要請に至った。

2)予定されている活動内容（最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。）

本大学をベースとして、
1)同大学の日本語専攻課程のレベル向上に関するアドバイス
2)同大学の日本語専攻課程のシラバス作成等に関するアドバイス
3)他機関を含めたチリにおける日本語教育者のネットワーク形成へのアドバイス
を行い、同大学およびチリ全土の日本語教育普及に寄与する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、PC等一般事務機器、日本語教材

4)配属先同僚及び活動対象者

同僚:同講座の日本人日本語教師3名(30～50代)、チリ人教師4名(講座主任・副主任含む)
活動対象者:同学部日本語専攻学生

5)活動使用言語（ スペイン語 ）
6)生活使用言語（ スペイン語 ）
7)選考指定言語
スペイン語 (ﾚﾍﾞﾙ: D)
又は
英語 (ﾚﾍﾞﾙ: D)

資格条件等

条件及びその理由（カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります）

・免許（ 日本語教授法 ）
又は（ ）
・性別（ ）理由：
・学歴（ ）（ ）理由：
・経験（ 実務経験 ）（ 5年以上 ）理由：業務遂行上必要
・ 理由：

活動上の車車／自転車の必要性：○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度：○可 春募集時のみ適用 ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候（地中海性気候 ）気温（ 乾季9～4月、雨季5～8月、0～30 ℃位）電気（◉安定 ○不安定 ○なし）
通信（☑インターネット可 ☑電話可 □無線 ）水道（◉安定 ○不安定 ○なし）

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 1 月 29 日

要請番号(SL 312 - 14 - C - 07)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	日系/短期
国名	職種					
チリ	(コード G157) 日本語教育	○グループ型 ◉個別	● 新規 ○交替 代日	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名 (日本語) 国際協力庁

2)配属先名 (日本語) ラ・セレナ大学 ○NGO

3)任地 ラ・セレナ

JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 470 Km

主要都市(ラ・セレナ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

1838年創立。4学部41学科を擁するチリ北部の有力大学である。学生数約1万人。年間予算約15億円。教員・職員数約1,300人。同大学には2007年から2011年にかけて公開講座として日本語クラスが開設され、また日本大使館や民間企業の援助により日本文化サロン「和やか」が建設されている。毎年、チリ・日本友好週間と題する日本文化紹介のイベントが実施されており、書道、茶道、生け花、漫画、アニメ等の展示や実演が行われる等、日本や日本文化への関心も高い。

要請概要

1)要請理由・背景

同大学には2007年から2011年にかけて公開講座として日本語クラスが開設され、半年単位で年間6クラスが開講され、更に日本大使館や民間企業の援助により日本文化紹介サロン「和やか」が建設されたが、現在は適当な日本語講師が見つからず日本語コースは開講されていない。チリ・日本友好週間のイベントも主にサンティアゴ在住の日本人・日系人等の支援を受けて実演等は行われている。こうした実態に対し同大学では日本語コースの再開に強い意欲を持っており、日本語コース開講のための支援を求めて今回の要請に至った。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

同大学をベースとして、
1)同大学の日本語コースの運営(半年間で3クラス)への主体的関与
2)同大学の日本語コースのシラバス作成等に関するアドバイス
3)同大学の日本文化サロン「和やか」の維持運営管理に関するアドバイス
4)チリ日本友好週間等を通じた日本語・日本文化発信に関するアドバイス
等を行い、同大学およびチリ全土の日本語教育普及に寄与する。

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、PC等一般事務機器、日本語教材

4)配属先同僚及び活動対象者

C/P:同大学公開講座担当部長、50代女性
同僚:公開講座担当者約15名
活動対象者:日本語・日本文化に興味を持つ同大学学生及び同市市民

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (日本語教授法) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要
- 理由:

活動上の車車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(地中海性気候) 気温(乾季9~4月、雨季5~8月、0~30 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)

通信([○] インターネット可 [○] 電話可 [ ] 無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日:平成 26 年 2 月 3 日

要請番号(SL 327 - 14- C - 08)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種					
ペルー	(コード G157) 日本語教育	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 6 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 3 26 / 4 /	年 月 から

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 国際協力庁

2)配属先名(日本語) ペルー日系人協会 日本語普及部 ◉NGO

3)任地 リマ市ヘスス・マリア区

JICA事務所の所在地(リマ市サン・イシドロ区)から 北 方向 5 Km

主要都市(リマ市サン・イシドロ区)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4)配属先の規模・事業内容

ペルー日系人協会は、文化センター、医療機関等を運営しており、日系人以外も対象とした事業を行っている。同協会の一部門である配属先は、国内における日本語の普及を目的とし、日本語能力試験の実施、弁論大会の開催、日本語教師育成講座の開講等を行っている。現在日本語教育のSVが活動中(～2014年9月)。

要請概要

1)要請理由・背景

ペルーの首都リマには、日系小学校および幼稚園が計5校あり、日本語・日本文化を授業に取り入れている。しかしながら、ペルーでは日系人教師でも流暢な日本語を話せるとは限らず、レベルの高い日本語力と日本語教授技術を備えた教師は少ない。また、地方においても教師数・レベル不足が深刻である。配属先は日本語普及を推進する中心的役割を担っており、日本語教師の教授能力向上に努めているが、レベルの高い教授法を指導できる人材が乏しいため、SVの継続的派遣が望まれている。現在「みんなの日本語」を教材として使用しているが、配属先ではより現地のニーズに合ったペルー独自の教材開発を行いたいとも考えている。また、現在派遣されているSVは学習室でのLAN構築を手がけており、電子教科書を作成中である。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

①日本語教師養成講座の企画・実施
②地方日本語教師へのセミナー開催
③配属先が行う行事(日本語弁論大会、日本語能力試験に実施等)への支援
④ペルー独自の教材開発への助言
⑤学習室の充実への助言(LAN構築等の環境整備)

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プリンター、DVD・CDプレイヤー、テレビ、ホワイトボード等

4)配属先同僚及び活動対象者

配属先部長:40代女性、弁護士
カウンターパート :40代女性

5)活動使用言語 (スペイン語)
6)生活使用言語 (スペイン語)
7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 ( ) 又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 ( ) ( ) 理由:
- 経験 (実務経験) (5年以上) 理由:講師への指導を含むため
- 理由:

活動上の車車/自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 春募集時のみ適用 / ◉否 SVは通年対象外

地域概況

気候(砂漠気候) 気温(10～25 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信(☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

平成 26年度 春 募集ボランティア要望調査票

JICA 長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号

記入日：平成 26 年 2 月 4 日

要請番号(SL 469 - 14 - C - 11)			区分(長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV/SV	派遣希望時期 日系/短期
国名	職種	○グループ型 ◉個別	○新規 ◉交替 7 代目	◉2年 ○1年 ○ ヶ月	26 / 4	年 月 から
モロッコ	(コード G157) 日本語教育				/	
					/	

配属先概要

1)受入省庁名(日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省

2)配属先名(日本語) モハメッド五世大学—アグダル ○NGO

3)任地 ラバト県ラバト市

JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km

主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4)配属先の規模・事業内容

モハメッド五世大学は、モロッコ全土に15校ある国立総合大学のひとつで、3学部5学院で構成されている。文学人間科学部は1957年に創設され、授業はフランス語とアラビア語で行われている。地理、史学、哲学、心理学、社会学、英語、独語、仏語、伊語、西語、葡語、アラビア語、イスラム学等の学科がある。学科外では日本語の他、中国語、韓国語、トルコ語、ウルドゥー語及び葡語を各国の協力の下に行っている。
http://www.um5a.ac.ma/

要請概要

1)要請理由・背景

モハメッド五世大学では国際交流基金による日本語教育を1982年から2005年まで実施し、その後JICAボランティアに引き継がれている。現在はSVによって学生及び一般社会人を対象とした公開講座が開講されている。日本語教育の一環として日本文化祭や日本語スピーチコンテストが開催されるほか、日本の大学との交流を含め文化的な交流プログラムを推進し、日本文化の相互交流の役割を担っている。同大学は日本語学科設立を構想している等、日本語教育の重要性を感じており、SV2名での講座運営を行うこととなった。

2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)

SV2名体制で、以下の活動を行う。
1.公開講座「日本語」運営(受講者の募集、クラス編成、会計、試験事務等含む)
2.公開講座「日本語」教授(週3時間/クラス、年間約30週)
3.日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト)
4.日本関連のイベントの企画・運営
5.日本語教育アシスタントの育成

3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等

専用教室(最大25名収容:Souissi校構内)ビデオ、テレビ、ラジカセ、DVD

4)配属先同僚及び活動対象者

文学人間科学部副学長
日本語教育アシスタント(大学院生、土曜日の初級クラス担当)
指導対象者:学生・社会人 約270名 18歳～50歳)
レベル:日本語初心者～中級前半(9クラス)

5)活動使用言語 (英語)
6)生活使用言語 (フランス語)
7)選考指定言語
英語 (レベル: D)
又は
フランス語 (レベル: D)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

- 免許 (日本語教授法)
  又は ( )
- 性別 ( ) 理由:
- 学歴 (大卒) ( ) 理由:大学での講義を行うため
- 経験 (実務経験) (3年以上) 理由:大学での講義を行うため
- 理由:

活動上の車車／自転車の必要性: ○単車 ○自転車 ◉不要

現職教員特別参加制度: ○可 ◉否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外

地域概況

気候(地中海性気候) 気温(5～35 ℃位) 電気(◉安定 ○不安定 ○なし)
通信([-]インターネット可 [-]電話可 [-]無線) 水道(◉安定 ○不安定 ○なし)

特記事項

ジャイカ
JICA